

おうちの家電を声やスマホでコントロール
スマート家電コントローラ

RS-WFIREX3 ユーザーズマニュアル



2020年1月
第4.5版

目次

セットアップ	4
セットアップの準備	4
Wi-Fi ルーターに接続 (iPhone/iPad の場合)	6
Wi-Fi ルーターに接続 (Android の場合)	7
接続の確認	8
リモコンを登録する	8
接続をはじめからやりなおす (ファクトリーリセット)	10
メイン画面について	11
メニュー	12
編集メニュー	12
家電リモコン一覧	13
リモコン画面について	15
メニュー	15
リモコンを登録する	16
かんたん登録 (プリセットを使う)	17
手動学習 その 1 (テンプレートを使う)	18
手動学習 その 2 (エアコンの場合)	19
手動学習 その 3 (テンプレートを使わない)	20
スマートスピーカーとの連携	21
対応スマートスピーカー	21
サポートする音声操作	21
Amazon Echo で操作	22
対応する操作と発話例	22
Alexa スマートホームスキルの設定	24
定型アクションで発話をカスタマイズ	27
Alexa カスタムスキルの設定	28
Google Home で操作	29
対応する操作と発話例	29
スマートホーム (Direct Actions) の設定	31
カスタム (Conversational Actions) の設定	34
スマホ (Google アシスタントアプリ) で音声操作	35
ルーティンの設定	36
Siri ショートカットに登録	37
サポートする音声操作	37
リモコンボタンを Siri に追加	37
マクロを Siri に追加	38
ショートカットの確認・再録音・削除	38
ショートカットアプリで設定	39
IFTTT との連携	40
サポート範囲	40
IFTTT の設定	41
my daiz™ (マイデイズ) との連携	42
サポートする音声操作	42
家電の操作例	42
家電くんの設定	43

リモコンアイコンの編集	44
リモコンの名前を変更する	44
リモコンを削除する	45
リモコンアイコンの色を変更する	45
リモコンアイコンを移動する (Android のみ)	45
ボタンの編集	46
ボタンの編集可能範囲について	46
ボタンの再学習・追加	47
学習内容を削除する	48
ボタンの名前を変更する	48
ボタンの大きさを変える (ボタン列数変更)	49
ボタンを移動する (Android のみ)	49
家電リモコンの便利な機能	50
タイマー予約をする	50
タイマーのオフ / オン	51
タイマーを削除する	52
マクロで複数の操作を登録する	54
マクロを編集する	55
オリジナルリモコンを作成する	56
ボタン / マクロを iOS の通知センターに追加する	58
ボタンを Android のホーム画面に追加する	59
家外での使用	60
家外での使用を有効にする	61
外出先から家電製品を操作する	62
外出先から温度・湿度・照度を確認する	62
警告温度を超えたら通知する (センサーアラート機能)	63
リモコンデータを他のスマホにコピー	64
スマホ間でリモコンデータの受け渡しをおこなう	65
エクスポートファイルをメール送信	66
iPhone/iPad にインポートする (パソコンが必要)	67
Android にインポートする	68
こんなときは	69
ファクトリーリセットを繰り返してセットアップできない	69
Amazon Alexa がうまく動作しない (スマートホーム)	70
Google アシスタントがうまく動作しない	70
HomePod で Siri ショートカットが動作しない	71
プリセットの一部のボタンが動作しない	71
登録している家電製品を削除・変更したい	72
接続先ルーターを変更したい	73
登録している家電製品を削除・変更する	73
ファームウェアを更新したい	73
登録しているメールアドレス・パスワードを変更したい	74

セットアップ

準備と Wi-Fi への接続方法について説明します。

本製品のご使用には Wi-Fi ルーターが必要です。

セットアップの準備

アプリをインストールしてください

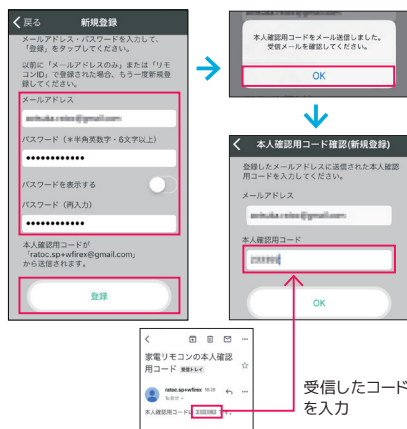
無料アプリ



アプリ「スマート家電コントローラ」の最新版をインストールしてください。
iOS は App Store、Android は Google Play からダウンロードします。
「スマート家電コントローラ」または製品型番で検索してください。

ユーザー登録してください

インストール後、最初にアプリ起動したときユーザー登録画面が表示されます。
スマートスピーカーと連携する場合は、必ずユーザー登録が必要です。



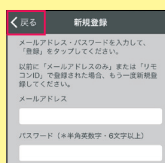
- ① メールアドレスと本アプリで使用するパスワードを入力し [登録] をタップします。
- ② 入力したメールアドレス宛に、本人確認用コードが届きます。
- ③ ②をアプリの「本人確認用コード」欄に入力し、[OK] をタップします。

こんなときは **本人確認用コードが届かない**

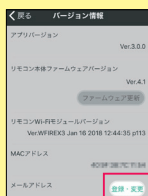
以下をご確認ください。

1. 正しいメールアドレスが入力されているか
2. ratoc.sp+wfirex@gmail.com が受信許可されているか
3. PC や別の端末など受信環境を変えても同様か

ワンポイント ユーザー登録はあとでもできます

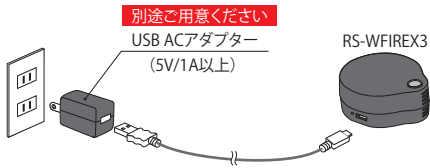


ユーザー登録しない場合は、[戻る] をタップすれば次回より表示されません。



あとで登録をおこなう場合は、家電リモコンのセットアップ後、メイン画面のメニューから「バージョン情報」を選択してください。

別途 USB AC アダプターをご用意ください



RS-WFiREX3 には、USB AC アダプターを添付していません。別途 USB AC アダプター (5V/1A 以上) をご購入ください。

ワンポイント Apple 純正 USB 電源アダプター推奨

USB AC アダプターは、品質が確保されたものをご使用ください。また、USB ケーブルは添付のものをご使用ください。電源の供給が不足したり、品質がよくないと、正常に動作しない場合があります。

Wi-Fi ルーターの設定をご確認ください

設定方法は、ご使用の Wi-Fi ルーターの取扱説明書をご参照ください。

項目	設定値	備考
2.4GHz 帯	有効	5GHz 固定では動作しません
暗号化方式	WPA2/WPA-Personal	WEP は対応していません
パスワード (暗号化キー)	半角英数字のみ使用	日本語や記号は使用しないでください
IP アドレス	自動割り当て	
動作モード	ルーターモード	上位機器がルーターでない場合
ネットワーク分離機能	無効	

※ ネットワーク分離機能について

メーカーや機種により、プライバシーセパレーター、セパレート機能などの呼び方があります。この設定はルーターに接続している機器同士の通信を禁止するため、PC 間のファイル共有や、無線 LAN 対応プリンタを使用したい場合は、無効にする必要があります。家電リモコンも上記と同様に、ルーターに接続したスマホと通信するため、無効にする必要があります。

ワンポイント セットアップをスムーズにおこなうコツ

- スマホの Wi-Fi 設定は、2.4GHz 帯のアクセスポイントを指定してください
- セットアップは、Wi-Fi ルーターの近くでおこなってください
(電波の状況がよいほど確実です。設置場所はあとで調整できます)
- 複数の家電リモコンを接続する場合は、1 台ずつコンセントに接続してください
(コンセントには、画面に指示が表示されるまで接続しないでください)

Wi-Fi ルーターに接続 (iPhone/iPad の場合)

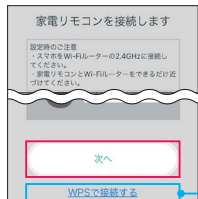
1 家電リモコンの追加を選択します。



① アプリを起動し、メニューから「家電リモコンの追加」を選択します。

② 本製品 (RS-WFIREX3) を選択します。

③ 本製品をコンセントに接続します。電源が入り、青色 LED が点滅します。



④ 赤色 LED が点滅になったのを確認したら「次へ」をタップします。

ワンポイント WPS の利用も可能です

WPS を利用して Wi-Fi ルーターと接続する場合は [WPS で接続する] をタップ⇒ 7 ページ参照

2 Wi-Fi ルーターの設定をします

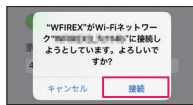


① [QRコード読み取り] をタップします。

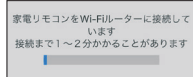
② 本体背面の QR コード (MAC アドレス) を、画面で読み取ります。

③ 本製品が Wi-Fi に接続しようとしている旨のメッセージが表示されたら、[接続] をタップします。

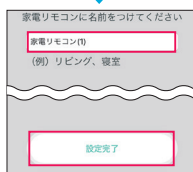
※ ネットワークに接続できないと表示された場合は、一つ前の画面に戻って、再度 QR コードを読み取ってください。



④ Wi-Fi ルーターの SSID が表示されるので確認します。ルーターのパスワードを入力して [次へ] をタップします。
※ SSID の変更は▼ をタップし、リストから選択します。



⑤ Wi-Fi ルーターへの接続が開始します。(1~2分かかります)



⑥ 家電リモコンの名前を入力し、[設定完了] をタップします。

接続の確認について ⇒ 8 ページ

Wi-Fi ルーターに接続 (Android の場合)

1 家電リモコンの追加を選択します。



- ① アプリを起動し、メニューから「家電リモコンの追加」を選択します。
- ② 本製品 (RS-WFIREX3) を選択します。

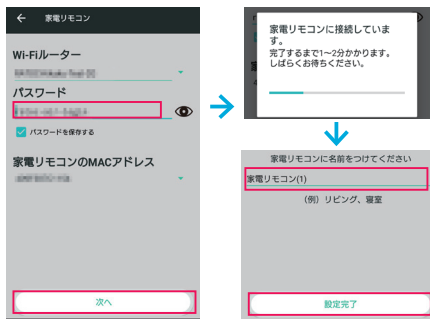


- ③ 本製品をコンセントに接続します。電源が入り、青色 LED が点滅します。
- ④ 赤色 LED の点滅になったのを確認したら「次へ」をタップします。

ワンポイント WPS の利用も可能です

WPS を利用して Wi-Fi ルーターと接続する場合は [WPS で接続する] をタップ⇒下部参照

2 Wi-Fi ルーターの設定をします

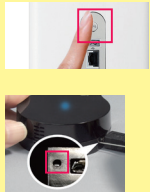


- ① Wi-Fi ルーターの SSID が表示されるので確認します。ルーターのパスワードを入力して [次へ] をタップします。
※ SSID の変更は▼をタップし、リストから選択します。
※ MAC アドレスが見つからない場合は、前の画面に戻って再度 [次へ] をタップし、検索し直してください。
- ② Wi-Fi ルーターへの接続が開始します。(1～2分かかります)
- ③ 家電リモコンの名前を入力し、[設定完了] をタップします。

接続の確認について ⇒ 8 ページ

ワンポイント WPS 接続では、以下の操作を 2 分以内におこないます

- ① Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを押します
ボタンの押し方は Wi-Fi ルーターの取扱説明書でご確認ください。
- ② 本体背面の WPS ボタンを押します
ボタンを先の細いもので 1 秒程度押します。
※ 天面 LED が青点滅でない場合は電源を入れ直して、再度 WPS ボタンを押します



接続の確認

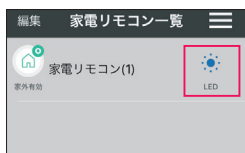
本体 LED が消灯したら接続完了



本製品がどの Wi-Fi ルーターにもつながっていない状態（アクセスポイントモード）から、つながっている状態（ステーションモード）に移行すると、赤点滅していた天面 LED は消灯します。

アプリで家電リモコン一覧に表示されているか確認

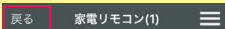
家電リモコン一覧に、新しい家電リモコンが表示されているか確認してください。



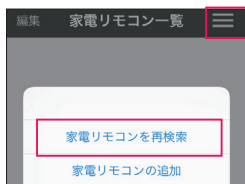
[LED] タップで、本体の青色 LED が点灯します。

ワンポイント 「家電リモコン一覧」の表示方法

画面左上の [戻る] ボタンをタップします。



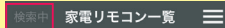
●一覧に表示されていない場合



[家電リモコンを再検索] で家電リモコンが見つかるかご確認ください。

ワンポイント 家電リモコン一覧移動時は自動で検索

アプリ起動時と家電リモコン一覧に移動時は、接続中の Wi-Fi 上にある家電リモコンを自動で再検索します。なお、検索中はメニューに表示されません。



スマホの Wi-Fi 接続先 (SSID) として、本製品を接続した Wi-Fi ルーターが指定されているか、ご確認ください。(自動で接続先が切り替わっていることがあります)

接続をやりなおす

設定のやり直しは、ファクトリーリセット（10 ページ参照）後におこなってください。

リモコンを登録する

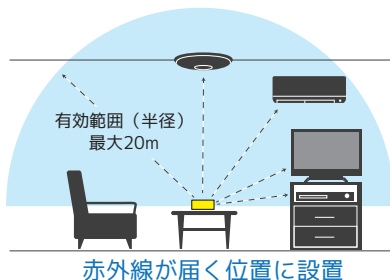
本体との接続に成功すると右の家電製品選択画面が表示されます。引き続き、リモコンの登録をおこないます。

リモコンを登録する ⇒ 16 ページ



●設置について

本製品は、赤外線が家電製品に届く位置に設置する必要があります。
設置位置の調整は、セットアップ作業が完了してからでもおこなえます。

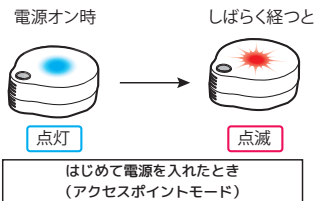


ワンポイント 部屋に蛍光灯がある場合の注意点

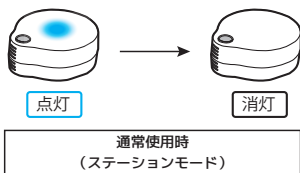
- 蛍光灯をリモコン操作する場合は受光部を確認**
蛍光灯は赤外線と同じ波長の光を強く発するため、設置場所によっては反応が悪くなります。受光部を確認し、赤外線が届きやすい位置に本製品を設置してください。
- 蛍光灯と本製品は離れた場所に設置**
蛍光灯の近くでは、ほかの家電操作時や手動学習時などリモコン信号が正しく受信できない場合があります。蛍光灯と本製品は、離れた場所に設置してください。

●本体の動作モードについて

本製品は、Wi-Fi ルーターに接続しているかどうかで動作モードが異なります。
動作モードは、本体 LED で確認できます。



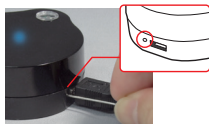
- アクセスポイントモード(初期出荷状態)**
LED: 青 LED 点滅 → 赤 LED 点滅
本体がどの Wi-Fi ルーターにも接続されていない状態です。はじめて本体に電源を入れたときや、ファクトリーリセットをおこなったあとはこのモードで動作します。



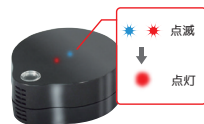
- ステーションモード**
LED: 消灯
Wi-Fi ルーターに接続されている通常使用時の状態です。セットアップが正常に終了すると、このモードに移行します。

接続をはじめからやりなおす(ファクトリーリセット)

スマート家電コントローラは Wi-Fi ルーターと接続をおこなうと、SSID やパスワードなどの情報を内部メモリに記憶します。接続がうまくいかないなど、内部メモリの情報を消去してはじめからやりなおしたいときは、次の手順でファクトリーリセットをおこなってください。



- ① 電源が入った状態で、WPS ボタンを先の細いもので約10 秒間押します。



- ② 青色LED・赤色LED が点滅します。その後、青色 LED が消灯し、赤色 LED が点灯します。



- ③ 本体から USB ケーブルを抜き差しして、電源を入れなおします。

こんなときは Wi-Fi の接続に失敗するときの確認事項

【本製品について】

- セットアップ時、本体の LED が赤点滅していますか (アクセスポイントモード)
電源をいれたとき、本体の青 LED 点滅約 30 秒後に赤 LED が点滅するかご確認ください。
上記動作とならない場合は、ファクトリーリセットをおこなってください。
- 別の接続方法 (WPS 接続) をお試しください
- 電源を変えてみてください (USB AC アダプター、USB ケーブル、コンセント位置など)

【スマホの設定について】

- スマホの Wi-Fi 接続先が、2.4GHz 帯になっていますか
- Android 6 以上の場合、位置情報はオンになっていますか
- スマホでは次の設定をオフにしてください
スマートネットワーク切り替え・ネットワーク自動切り替え・接続できない電波を無視する・接続不良のとき無効にする

【Wi-Fi ルーターの設定について】

セットアップ前の準備 (5 ページ) を参照ください

ファクトリーリセットを繰り返す場合は
「こんなときは」へ⇒ [69 ページ](#)

メイン画面について

アプリを起動するとメイン画面が表示されます。

メイン画面から操作したい家電製品のリモコンをタップし、家電製品の操作を始めることができます。また、製品本体のセンサーが取得した温度・湿度・照度が表示されるので、室内の環境を知ることができます。

< (戻る)
前の画面に戻ります。

『メイン画面』

戻る 家電リモコン(1)

テレビ エアコン 照明

扇風機 お気に入り おやすみ

2019/01/15 18:22 計測

更新

温度 湿度 照度

24.5 °C 35 % 431 lx

ファームウェアのアップデートがあります。

メニュー
リモコンの新規登録やタイマー予約などのメニューを表示します。

『メニュー画面』

製品本体の名前
選択中のスマート家電コントローラの名前を表示します。

リモコンアイコン
タップすると家電製品のリモコン画面を表示します。

『リモコン画面』

リモコンアイコンのロングタップで、名前変更や削除など編集メニューを表示します。

『編集メニュー画面』

Alexa 登録マーク
Amazon Alexa カスタムスキルと連携している家電製品のアイコンには「A」マークが付きま。

Google アシスタント登録マーク
Google Home カスタムと連携している家電製品のアイコンには「G」マークが付きま。

マクロアイコン
「M」マークの付いたアイコンは、マクロアイコンです。タップすると複数の家電製品を一括操作できます。

オリジナルリモコンアイコン
「O」マークの付いたアイコンは、オリジナルリモコンアイコンです。オリジナルリモコンとは、いろいろなりリモコンから使いたいボタンを集めたリモコンです。

ファームウェア更新
更新が必要なときに表示します。

温度・湿度・照度
製品本体のセンサーが取得した値が表示されます。

閉じる
温度・湿度・照度の表示を閉じます。

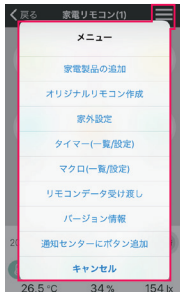
センサー値更新
表示を最新の値に更新します。

リモコンを登録する

メイン画面について

<目次に戻る>

メニュー



メイン画面右上のアイコン  (メニュー) をタップすると、次の設定や機能が利用できます。

家電製品の追加	リモコンを新規で登録します。
オリジナルリモコン作成	リモコンパーツを組み合わせたリモコンを作成します。
家外設定	<ul style="list-style-type: none">・ 家外での使用を有効にします・ 設定温度を超えたら通知します (センサーアラート機能)
タイマー (一覧 / 設定)	家電製品のタイマー予約をおこないます。
マクロ (一覧 / 設定)	ひとつのアイコンで複数の家電製品を一括操作します。
リモコンデータ受け渡し	データのインポート、エクスポートをおこないます。
バージョン情報	アプリ、本体ファームウェア、本体 Wi-Fi モジュールのバージョンと MAC アドレスが確認できます。
通知センターにボタン追加 (iPhone/iPad のみ)	よく使うリモコンのボタンを通知センターに追加します。

編集メニュー



メイン画面上的のリモコンアイコンをロングタップすると、次の編集機能が利用できます。

[Alexa Skill 発話例][Google アシスタント発話例][放送局名一覧]は、連携済みの家電およびテレビで表示します。

名前変更	リモコンアイコンの名前を変更します。
削除	リモコンアイコンを削除します。
順番入替 (Android のみ)	リモコンのアイコンを並べ替えます。
色変更	リモコンアイコンの色を変更します。

家電リモコン一覧

家電リモコン一覧の表示は、メイン画面左上の戻る (<) をタップします。使用中の家電リモコンのリスト表示、家電リモコンの追加やスマートスピーカーとの連携などの設定をおこないます。複数台の家電リモコン運用時は、一覧で切り替えて使用します。

◆家電リモコン一覧画面

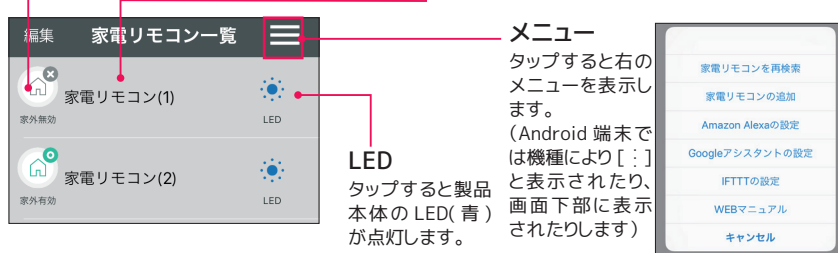
例では家電リモコンを 2 台使用しています。

家外の無効 / 有効表示
家外設定が ON のときは「家外有効」、OFF のときは「家外無効」を表示します。

製品本体の名前
タップするとメイン画面を表示します。ロングタップすると製品本体の名前を変更できます。

メニュー
タップすると右のメニューを表示します。
(Android 端末では機種により [:] と表示されたり、画面下部に表示されたりします)

LED
タップすると製品本体の LED(青) が点灯します。



リモコンを登録する

メイン画面に切り替える

家電リモコンを再検索	同じネットワーク上にある製品本体を探して表示します。 ※検索中はメニューに表示されません
家電リモコンの追加	製品本体を追加登録するときに使用します。
Amazon Alexa の設定	Alexa 搭載スピーカーとの連携設定をおこないます。
Google アシスタントの設定	Google アシスタント搭載スピーカーとの連携設定をおこないます。
IFTTT の設定	IFTTT で連携する家電およびセンサーを選択します。
WEB マニュアル	WEB マニュアルの画面を表示します。

◆編集画面

画面左上の「編集」をタップすると、編集画面に切り替わります。

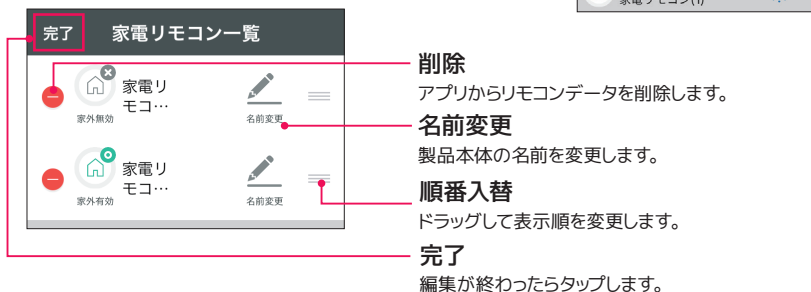
※ Android 端末の場合は、リモコン名の長押しで編集画面となります

完了 編集が終わったらタップします。

削除
アプリからリモコンデータを削除します。

名前変更
製品本体の名前を変更します。

順番入替
ドラッグして表示順を変更します。

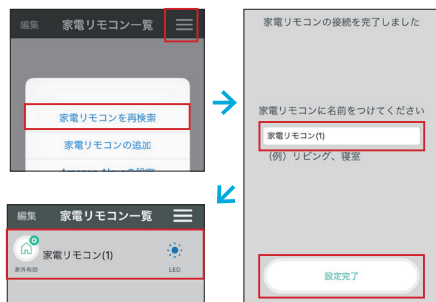


<目次に戻る>

2 台目のスマホ / 本製品を接続する

2 台目のスマホを接続する

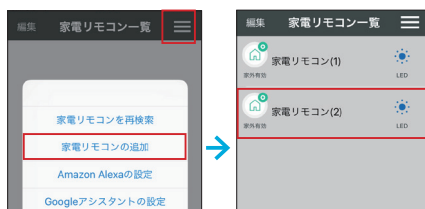
接続済みの本製品を別のスマホから使用する場合は、以下の手順でスマホを追加します。



- ① スマホを本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続します。
- ② [家電リモコン一覧] のメニューから [家電リモコンを再検索] をタップします。
※メニューに表示されていない場合は、自動検索中です
- ③ 「家電リモコンの接続を完了しました」が表示されたら、名前を入力して [設定完了] をタップします。
- ④ [家電リモコン一覧] に追加されます。

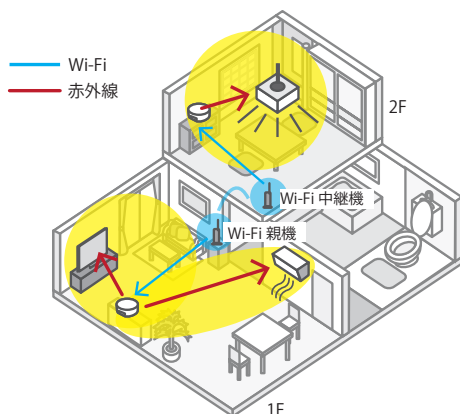
2 台目の本製品を接続する

さらに本製品を追加登録する場合は、以下の手順でおこないます。



- ① 本製品の電源を入れ、天面 LED が赤点滅 (アクセスポイントモード) になっていることを確認します。
- ② [家電リモコン一覧] 画面右上のメニューから [家電リモコンの追加] をタップします。
- ③ 以下、1 台目と同じ手順で接続の設定をおこないます。
- ④ [家電リモコン一覧] に追加されます。

●複数台の設置について



Wi-Fi ルーターの電波が届く範囲であれば、複数の部屋に家電リモコンを設置して利用できます。

本製品の赤外線の有効範囲は約 20m です。家電製品に赤外線が届きやすい距離・位置に本製品を設置してください。

ワンポイント 部屋ごとに使い分け

LED 点灯で各部屋の本体を確認し、名称を部屋の名前などしておくとう便利です。



リモコン画面について

リモコンアイコンをタップするとリモコン画面が表示されます。

リモコン画面には、標準的なボタンが配置されています。足りないボタンは、カスタムボタンとして追加できます。

← (戻る) 前 (メイン画面) に戻ります。

例はテレビのリモコンです。



リモコンの名前

リモコンの名前を表示します。

メニュー

ボタンの再学習や追加、名前変更などをおこないます。

標準ボタン (レイアウト固定)

家電製品でよく使われるボタンはリモコン画面上部にあります。名前変更や移動などのレイアウト変更はできません。

カスタムボタン (レイアウト可変)

画面下部のボタンは、追加や削除などレイアウト変更ができます。



エアコンの場合



照明の場合

標準ボタン

カスタムボタン

メニュー



リモコン画面上のメニューをタップすると、ボタンに関する編集項目が表示されます。



Android 端末では機種により [:] と表示されたり、画面下部に表示されたりします

新規 / 再学習	ボタンのリモコン信号の変更や追加をおこないます。
学習内容削除	リモコンのボタンを削除します。
名前変更	ボタンの名前を変更します。
移動	ボタンの位置を移動します。 ※ Android のみ対応
列数変更	ボタンの配列を変更します。
長押し対応	長押しで信号を連続送信するボタンを設定します。 ※ カスタムボタンのみ対応
Siri に追加	ボタンに音声割り当てます。 ※ iOS のみ対応

<目次に戻る>

リモコンを登録する

いろいろな方法で家電製品のリモコンをアプリに登録できます。

家電製品のリモコンをアプリに登録します。本製品ではプリセットを用意しています。家電製品を選択するだけで、リモコンを登録できます。プリセットにないものは、手動学習機能を使って登録します。

かんたん登録（プリセットデータを使う）



メーカー、機種を選択するだけで使える

家電製品の種別、メーカー、機種を画面から選択するだけでリモコンが使えるようになります。

⇒ 17 ページ

手動学習 その 1（テンプレートを使う）



あらかじめボタンがレイアウトされたテンプレートを使って、リモコン信号を登録します。

⇒ 18 ページ

ワンポイント テンプレートがある家電製品

テレビ、レコーダー、照明、エアコン

手動学習 その 2（エアコンの場合）



エアコンは各ボタンではなく、運転モード、温度、風量をセットで登録します。

⇒ 19 ページ

手動学習 その 3（テンプレートを使わない）



扇風機やその他の機器などテンプレートのない家電は、ボタンを追加しながら登録します。

⇒ 20 ページ

※あらかじめアプリに組み込んでいる家電製品のリモコン信号を『プリセットデータ』といいます。プリセットデータは随時追加、提供しています。

※本製品は、日本でよく採用されている NEC、家電協、SONY の 3 種類以外に、海外メーカーの独自フォーマットなど、さまざまな赤外線リモコンの通信フォーマットに対応しています。

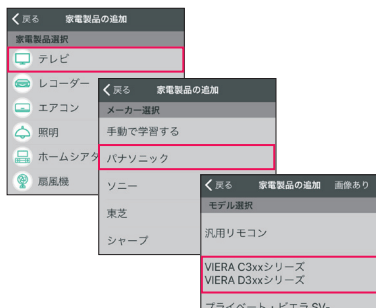
かんたん登録（プリセットを使う）

家電の種類、メーカー、機種を選択するだけで、リモコンが登録できます。

<https://iot.ratocsystems.com/support/preset/>

プリセットはクラウドから取得します。スマホはインターネットに接続しておいてください。

1 家電製品を選択する



例では、テレビのリモコンを登録します。

- ① 家電製品を選択します。
- ② メーカーを選択します。
- ③ 機種を選択します。

ワンポイント

該当機種がないときは類似製品を選択

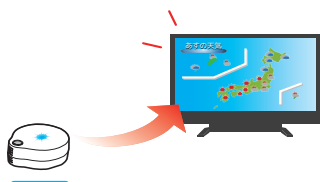
プリセットにご使用のモデルがない場合は、汎用リモコンやその製品に近いモデルを選択してお試しください。

2 テスト用の画面で、ボタンを押して試す



例は、テレビの電源ボタンを押しています。

赤外線送信中は LED が青点滅します。



点滅 リモコン信号送信

こんなときは

家電製品が反応しない

家電製品に赤外線が届いていない可能性があります。家電リモコンの設置位置（14 ページ）を調整して再度お試しください。また、Wi-Fi の電波状況によっては、反応が遅くなる場合があります。

3 テストが終わったら [完了] をタップし、リモコンの名前をつける



メイン画面には、登録済み家電のアイコンが表示されます。



プリセットにメーカーやモデルが見当たらないとき

手動学習 その1 (テンプレートを使う)

テンプレートを使ってリモコンを作成します。各ボタンにリモコン信号の登録が必要です。

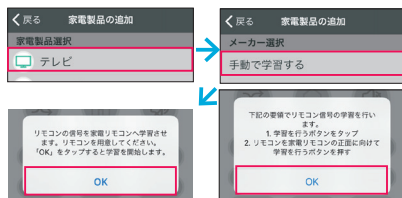
ワンポイント テンプレートがある家電製品
テレビ、レコーダー、エアコン、照明



リモコンを登録する

リモコンを登録する

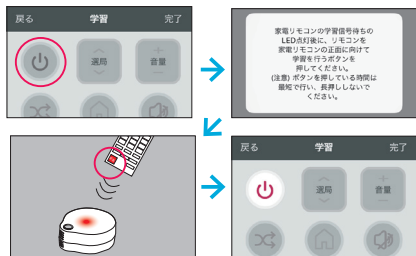
1 家電製品を選択して [手動で追加する] をタップ



例ではテレビを選択しています。

- ① メニューから [家電製品の追加] を選択し、家電製品をタップします。
- ② [手動で追加する] をタップします。
- ③ リモコンを用意し、[OK] をタップします。
- ④ [OK] をタップします。

2 各ボタンの学習をおこなう

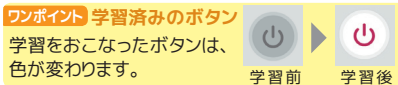


例では電源ボタンを学習しています。

- ① 画面のボタンをタップします。
- ② 赤色 LED 点灯中に、リモコンのボタンを本体に向かって押します。

こんなときは 登録前に赤色 LED が消灯した
リモコンのボタンを押し間違えた

再度ボタンをタップすると学習できます。



ワンポイント 学習済みのボタン
学習をおこなったボタンは、
色が変わります。

上記手順で、他のボタンも学習します。

3 [完了] をタップし、リモコンの名前をつける



メイン画面には、登録済み家電のアイコンが表示されます。

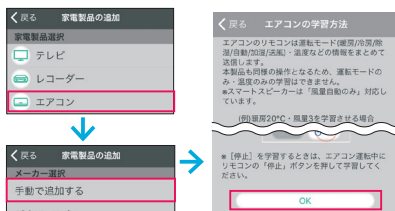


プリセットにメーカーやモデルが見当たらないとき

手動学習 その2 (エアコンの場合)

エアコンのテンプレートをを使って、運転モード・温度・風量をセットで登録します。

1 エアコンを選択して [手動で学習する] をタップ



- ① メニューから [家電製品の追加] を選択し、[エアコン] をタップします。
- ② [手動で追加する] をタップします。
- ③ 学習方法が表示されます。[OK] をタップします。

2 各モード・温度の学習をおこなう



例では「暖房 20°C、風量 3」を学習します。

- ① リモコンで、暖房・20度・風量 3 を選択します。「停止」ボタンを押します。
- ② アプリ画面を暖房→20°C→風量 3 に合わせた後、「運転開始」をタップします。
- ③ 本製品の正面に向け、「暖房」ボタンを押します。

こんなときは 登録前に LED が消灯してしまったリモコンのボタンを押し間違えた

再度ボタンをタップすると学習できます。

上記手順で、他の設定も学習します。

3 [完了] をタップし、リモコンの名前をつける



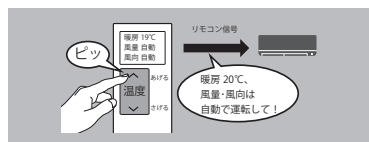
こんなときは すべてのボタンに学習が必要?

普段よく使う設定のみの学習も可能です。

ワンポイント 学習済みの設定

表示色が濃くなります。

温度	風量
19°C	2
20°C	3
21°C	4



● エアコン学習のコツ

エアコンのリモコンボタンは、冷房・暖房・温度 (°C)・風量・風向などの情報をまとめて送信しています。運転のみや温度のみの学習をおこなうことはできません。

<目次に戻る>

リモコンを登録する

リモコンを登録する

手動学習 その3 (テンプレートを使わない)

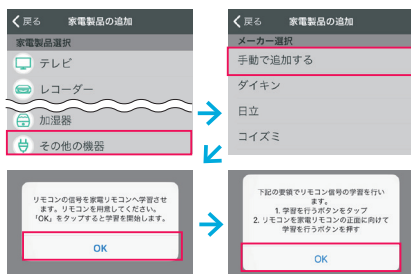
扇風機やその他の機器などテンプレートのない家電は、ボタンを追加しながら登録します。



その他のリモコンも
ボタン登録可能

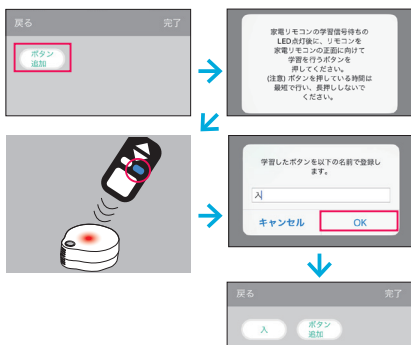


1 家電製品を選択して [手動で追加する] をタップ



- ① メニューから [家電製品の追加] を選択し、[その他の家電] をタップします。
- ② [手動で追加する] をタップします。
- ③ リモコンを用意し、[OK] をタップします。
- ④ [OK] をタップします。

2 ボタンの学習をおこなう



例では、扇風機の「入」を学習します。

- ① 画面の [ボタン追加] をタップします。
- ② 赤色 LED 点灯中に、リモコンのボタンを本体に向かって押します。
- ③ 名前を入力して [OK] をタップします。
- ④ [OK] をタップします。

上記手順で、他の操作も学習します。

3 登録完了

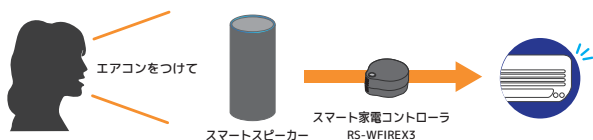


- ① すべて学習したら [完了] をタップします。
- ② リモコンの名前を入力して [OK] をタップします。

スマートスピーカーとの連携

スマートスピーカーと連携すると、音声で家電が操作できるようになります。

「〇〇して」と話しかけて家電のコントロール。ハンズフリーで家電の操作がおこなえます。



対応スマートスピーカー

- Amazon Alexa 搭載スマートスピーカー
- Google アシスタント 搭載スマートスピーカー

サポートする音声操作

アプリに登録済みのリモコンのうち、スマートスピーカーから以下の操作をすることができます。

スキル種別	Alexa スマートホーム		Google スマートホーム		カスタム	
発話例	xx を〇〇して。		xx を〇〇して。		家電リモコンを使って〇〇して。	
設定	⇒ 22 ページ		⇒ 31 ページ		⇒ 28 ページ (Alexa) ⇒ 33 ページ (Google)	
家電の種類	接続台数	操作範囲	接続台数	操作範囲	接続台数	操作範囲
テレビ	計 50 台	電源のオンオフ チャンネルの切り替え 音量の変更、消音設定	計 50 台	電源のオンオフ	1 台	電源のオンオフ チャンネルの切り替え 音量の変更、消音設定
エアコン		電源のオンオフ、 温度、モードの変更、 設定の確認		電源のオンオフ 温度、モードの 変更	1 台	電源のオンオフ 温度、モードの変更
照明		電源のオンオフ 照度の調整		電源のオンオフ 照度の調整	2 台	電源のオンオフ 照度の調整
扇風機		電源のオンオフ	—	—	1 台	電源のオンオフ (Google のみ)
カーテン		開閉	—	開閉、ストップ	1 窓	開閉、ストップ (Google のみ)
その他		その他家電の電源 のオンオフ	—	—	全部つけて / 全部消して 温度・湿度・明るさ、快適レベルの案内 (Alexa のみ)	

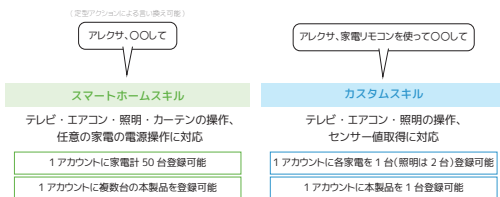
<目次に戻る>

Amazon Echo で操作

Alexa スキルの登録と発話例を紹介します。

スキルには、Alexa 標準のスマートホームスキルと、当社独自のカスタムスキルがあります。

それぞれ対応する操作や発話は異なります。用途に合わせてお使いください。(併用も可能です)



対応する操作と発話例

① 1 回の呼びかけで操作を完了する場合

【スマートホームスキル】アレクサ、～

【カスタムスキル】アレクサ、家電リモコンを使って(家電リモコンで)～

家電	操作	スマートホーム	カスタム	発話例
テレビ	電源	○	○	テレビをつけて / 入れて、テレビを消して / 切って
	チャンネル	○	○	チャンネルを1にして / 1チャンネルに変えて チャンネルをあげて、チャンネルをさげて
		○	—	テレビをNHKにして
	音量	○	○	ボリュームを3つあげて / 大きくして ボリュームを3つさげて / 小さくして 消音にして / ミュートにして 消音を解除して / アンミュートにして
エアコン	電源	○	○	エアコンをつけて / オンにして エアコンを消して / 切って / オフにして 暖房(冷房・除湿)をつけて / 暖房(冷房・除湿)にして 暖房(冷房・除湿)を消して / 暖房(冷房・除湿)を切って
	電源(温度指定あり)	—	○	24度でエアコン(暖房、冷房)をつけて
	温度設定	○	○	エアコンの温度を24度にして
		○	—	エアコンの温度を上げて / 下げて
		—	○	冷房を18℃にして、暖房を24℃にして
	除湿設定	○	○	除湿を24℃にして ※温度絶対指定のとき
		—	○	除湿を4℃にして ※温度相対指定のとき 除湿を強 / 弱にして※温度強弱指定のとき 60%で除湿して ※湿度 % 指定のとき
モード確認	○	—	エアコンのモードは何、エアコンの設定温度は何	
照明	電源	○	○	電気をつけて / 入れて、電気を消して / 切って
	照度	○	○	明るくして / 明るめにして、暗くして / 暗めにして
カーテン	開閉	○	—	カーテンを開けて / 閉めて
その他	電源	○	—	○○をつけて、○○を消して

*カスタムでは、チャンネル、ボリュームアップ/ダウン、明るく/暗くのと、引き続き操作がないか質問してきます。「おわり」というと終了します。

<目次に戻る>

スクリーン付き Amazon Echo での発話例

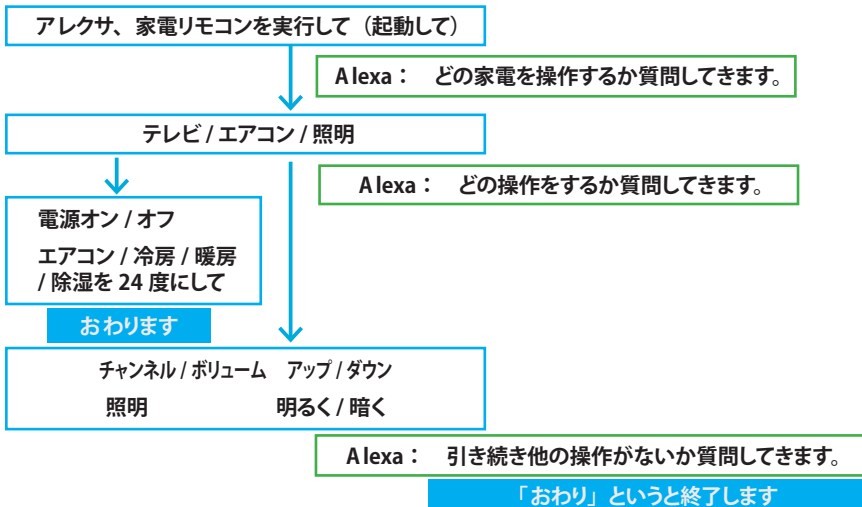
【カスタムスキル】アレクサ、家電リモコンを使って（家電リモコンで）～

家電	操作	発話例	スクリーンの表示
テレビ	チャンネル	チャンネルを1にして、チャンネルをあげて	現在のチャンネル アップダウンボタン
	ボリューム（音量）	ボリュームをあげて、ボリュームをさげて	アップダウンボタン
エアコン	電源	エアコンをつけて 18度で冷房（暖房）をつけて	設定モード 設定温度
	温度設定	エアコン（冷房 / 暖房）を 24℃にして	
	除湿設定	除湿を 4℃にして ※温度相対指定のとき 除湿を強 / 弱にして ※温度強弱指定のとき 60% で除湿して ※湿度 % 指定のとき	
その他 ※ 1	センサー値表示	温度（湿度 / 明るさ）を教えて センサー情報を教えて	温度、湿度、照度
	快適レベル表示 ※ 2	環境を教えて 今の状態を教えて	快適レベル（5つ）

※ 1 スクリーンのない Echo では音声のみで案内します。

※ 2 センサー値（温度・湿度）から快適レベルを 5つ（快適ゾーン、熱中症、脱水症状、リュウマチ、呼吸器系疾患）で表示。症状悪化の可能性があるとき、エリアを光らせてお知らせします。極端に危険度が高いときは、音声で危険をお知らせします。

②対話形式で操作をする場合（カスタムスキル）



③一度に電源オン / オフする場合（カスタムスキル）

アレクサ、家電リモコンを使って（家電リモコンで）～

全部つけて	全部オンにして / まとめてオンにして
全部消して	全部オフにして / まとめてオフにして

<目次に戻る>

3 Alexa アプリでスマートホームスキルとリンクします (初回のみ)



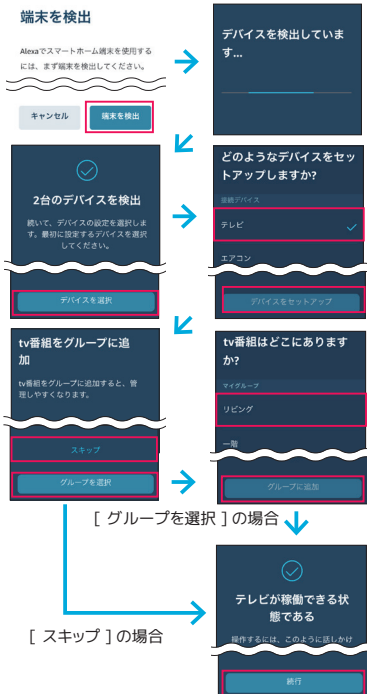
- ① [Alexa を開始] をタップします。
- ② スマート家電コントローラ用スマートホームの画面が表示されたら、[有効にして使用する] をタップします。
- ③ 家電リモコンアプリに登録しているアカウントを入力し、[登録] をタップします。
※ Amazon アカウントではありません
- ④ 「正常にリンクされました」のメッセージが表示されたら、リンク完了です。

Android の場合

Alexa アプリのスキル・ゲーム画面から「スマート家電コントローラ用スマートホーム」を検索してください。



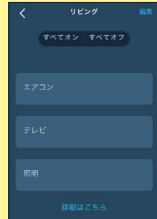
4 Alexa アプリでデバイスを検出し、セットアップをおこないます



- ① [端末の検出] をタップします。
- ② デバイスの検出が始まります。
- ③ 検出後、メッセージが表示されます。
- ④ 家電にチェックを入れて [デバイスをセットアップ] をタップします。
※家電は1台ずつ選択してセットアップします
- ⑤ 部屋の割当をする場合は [グループを選択]、しない場合は [スキップ] をタップします。
※グループの設定は、あとでもおこなえます ⇒ 26 ページ

ワンポイント 家電を部屋ごとにグループ化

複数の家電リモコンを設定している場合は、部屋ごとに家電をグループ化しておくとう便利です。「リビングの照明をつけて」と部屋を指定したり、「リビングをつけて」とまとめて操作がおこなえます。定型アクションにも使用できます。



- ⑥ デバイスが稼働状態である旨のメッセージが表示されます。[続行] で④に戻り、引き続きデバイスのセットアップをおこないます。

<目次に戻る>

こんなときは 手動でデバイスを検出したい

[三] - [デバイスを追加] からブランドを選択し、[デバイスの検出] をタップします。

**こんなときは** Alexa に登録しているデバイス（家電）を変更したい

- 家電の追加は、22～23 ページの手順1→2 のあと、手動でデバイスを検出します。
- 家電の削除は、22 ページの手順1→2 のあと、Alexa アプリのデバイスから家電を削除します。

**こんなときは** 家電を新規グループ（部屋）に割り当てたい

グループを追加する際にデバイスを選択します。例では、寝室に家電 3 台を割り当てています。

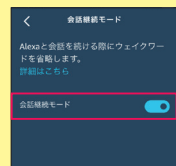
**こんなときは** 家電を既存グループ（部屋）に割り当てたい

グループを開いてデバイスを選択します。例では、リビングに照明を追加しています。

**ワンポイント** 「アレクサ」を一回だけできる会話継続モード

通常、呼びかけの都度ウェイクワードが必要ですが、「会話継続モード」を有効にすると、処理終了後数秒間 Alexa が起動した状態となります。例えば、「アレクサ、冷房をつけて」「エアコンを 24 度にして」といったように、連続で操作を指示することができます。

設定は、Alexa アプリの左上にあるメニューから [設定] - [デバイスの設定] - (スマートスピーカーを選択) - [会話継続モード] でおこないます。

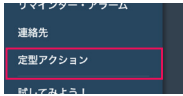


定型アクションで発話をカスタマイズ

スマートホームスキルで登録した家電は、Alexa アプリの定型アクション機能が使えます。呼びかけの置き換え、グループ・複数家電のまとめてオン・オフなどができます。

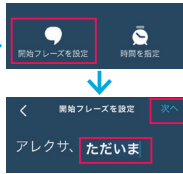
例：「アレクサ、ただいま」で指定した家電製品の電源がつく

1 定型アクションを作成します



- ① 左上の [≡] から「定型アクション」を選択します。
- ② [+] をタップします。

2 呼びかけるフレーズを設定します

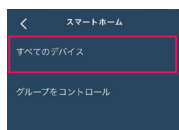


- ① [実行条件を設定] をタップします。
- ② [開始フレーズを設定] をタップします。
- ③ フレーズを入力して [次へ] をタップします。

3 家電のアクションを設定します



- ① [アクションを追加] をタップします。
- ② [スマートホーム] をタップします。
- ③ [すべてのデバイス] をタップします。
- ④ 家電を選択します。

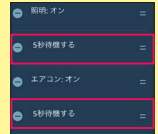


- ⑤ アクションを選択し [次へ] をタップします。
- ⑥ すべてのアクションを追加したら、[保存] をタップします。



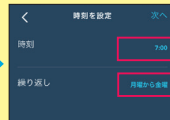
ワンポイント 家電の連続操作に待機時間を挿入

複数のデバイスを連続して指定する場合は、各操作の間に待機時間を挿入すると、実行される順番が安定します。



ワンポイント 定型アクションでタイマー設定

フレーズのほか、実行条件に時刻や曜日を指定することも可能です。



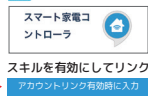
<目次に戻る>

Alexa カスタムスキルの設定

家電リモコンアプリ



Alexaアプリ



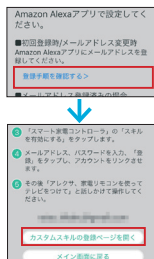
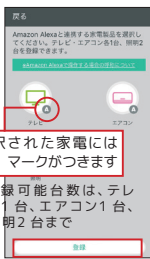
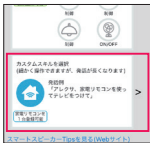
登録後、「アレクサ、家電リモコンを使って〇〇して」の呼びかけで家電の操作がおこなえます。家電リモコンアプリで家電の登録をしたあと、Alexa アプリでリンクを有効にします。

1 家電リモコンアプリで Alexa の設定を選択します



メニューから「Amazon Alexa の設定」を選択します。

2 家電を指定します



- ① [カスタムスキルを選択] をタップします。
- ② 使用するリモコン本体を選びます。
- ③ Alexa に登録する家電をタップします。

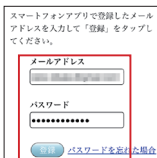
ワンポイント エアコンは温度設定が可能

エアコンをタップすると、各モードの温度設定画面が表示されます。



- ④ 選択しおわったら [登録] をタップします。
- ⑤ [登録手順を確認する] をタップします。
- ⑥ [カスタムスキルの登録ページを開く] をタップします。

3 Alexa アプリでカスタムスキルとリンクします (初回のみ)



- ① [Alexa の開始] をタップします。
※Android では、Alexa アプリで [スキル・ゲーム] を選択し「スマート家電コントロール」を検索します。
- ② スキル・ゲームの画面で [有効にして使用する] をタップします。
- ③ 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
- ④ 「正常にリンクされました」のメッセージが表示されたら完了です。

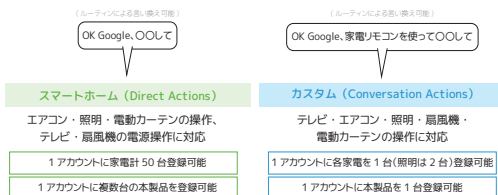
<目次に戻る>

Google Home で操作

Google アシスタントの登録と発話例を紹介します。

アクションには、Google 標準のスマートホームと、当社独自のカスタムがあります。

それぞれ対応する操作や発話は異なります。用途に合わせてお使いください。(併用も可能です)



対応する操作と発話例

① 1 回の呼びかけで操作を完了する場合

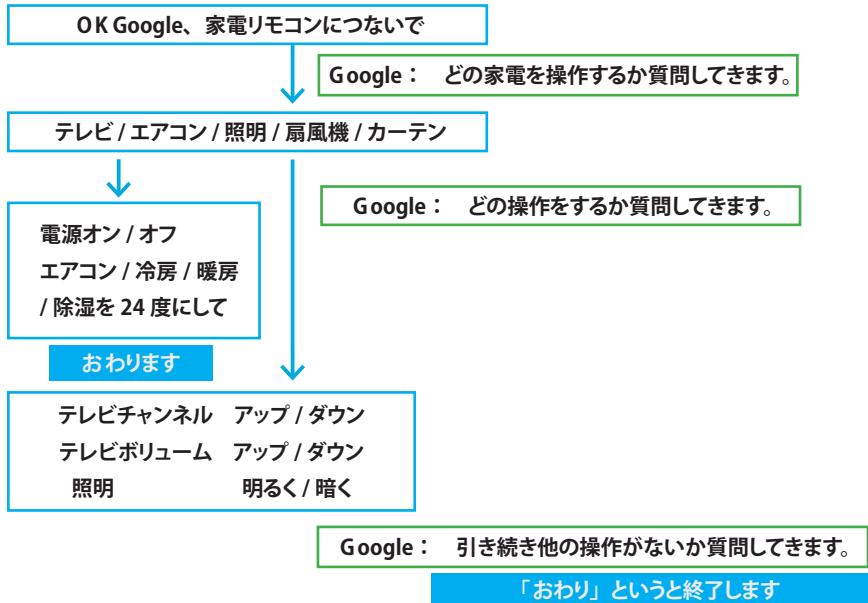
【スマートホーム】OK Google、～

【カスタム】OK Google、家電リモコンを使って (家電リモコンで) ～

家電	操作	スマートホーム	カスタム	発話例
テレビ	電源	○	○	テレビをつけて / 入れて、テレビを消して / 切って
	チャンネル	—	○	チャンネルを1にして / 1 チャンネルに変えて チャンネルをあげて、チャンネルをさげて テレビをNHKにして
	音量	—	○	ボリュームを3つあげて / 大きくして ボリュームを3つさげて / 小さくして 消音にして / ミュートにして 消音を解除して / アンミュートにして
エアコン	電源 (温度、 モード指定なし)	○	○	エアコンをつけて / オンにして エアコンを消して / 切って / オフにして
	電源 (温度、 モード指定あり)	○	○	暖房をつけて / 暖房にして、暖房を消して / 切って 冷房をつけて / 冷房にして、冷房を消して / 切って
		—	○	24 度でエアコンをつけて 24 度で暖房をつけて、18 度で冷房をつけて
	温度設定	○	○	エアコンを 24℃にして 冷房を 18℃にして、暖房を 24℃にして
除湿設定	—	○	除湿を 24℃にして ※温度絶対指定のとき 除湿を 4℃にして ※温度相対指定のとき 除湿を強 / 弱にして※温度強弱指定のとき 60% で除湿して ※湿度 % 指定のとき	
照明	電源	○	○	電気をつけて / 入れて、電気を消して / 切って
	照度	○	○	照明を明るくして / 明るめにして 照明を暗くして / 暗めにして
扇風機	電源	○	○	扇風機をつけて / 切って
カーテン	開閉	○	○	カーテンを開けて / 閉めて / ストップ

<目次に戻る>

②対話形式で操作をする場合（カスタムのみ）



③一度に電源オン / オフする場合（カスタムのみ）

OK Google、家電リモコンを使って～

全部つけて	全部オンにして / まとめてオンにして
全部消して	全部オフにして / まとめてオフにして

スマートホーム (Direct Actions) の設定

家電リモコンアプリ



家電を登録
ログイン時のメール&/パスワード

Google アシスタント



家電リモコンスマートホーム
RATOC Systems, Inc.
セットアップ

スマートホームに登録
有効時のメール&/パスワード

登録後、「OK Google、〇〇して」の呼びかけでエアコン・照明の操作がおこなえます。「OK Google、照明をつけて」「冷房を20度にして」など、家電の名前と操作内容のみで伝えることができます。

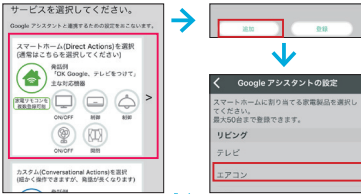
家電リモコンアプリで家電の登録をしたあと、Google アシスタントアプリのスマートホームに追加します。

1 家電リモコンアプリで Google の設定を選択します



メニューから「Google アシスタント の設定」を選択します。

2 アクションを選択し、家電を登録します



- ① [スマートホームを選択] をタップします。
- ② 画面最下部の [追加] をタップします。
- ③ 一覧から登録する家電を選択します。

ワンポイント エアコンは温度設定が可能
エアコンは、モードごとに温度が設定できます。

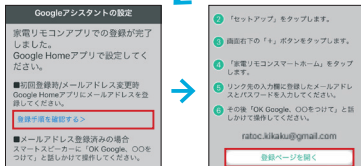


こんなときは 一覧から家電を削除する

削除したい家電を右から左へスワイプすると [削除] ボタンが表示されます

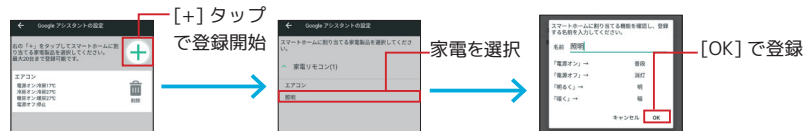


- ④ 名前を編集し、[OK] をタップします。
- ⑤ すべて選択したら [登録] をタップします。
※登録できる家電の台数は、最大50台です。
- ⑥ [登録手順を確認する] をタップします。



- ⑦ [登録ページを開く] をタップします。
【iOS】Google アシスタントアプリが入っていない場合は、App Store からダウンロードしてください。

Android の場合、iOS と操作の流れは同じですが、操作画面が異なります。



<目次に戻る>

3 Google アシスタントのスマートホームに追加します（初回のみ）



こんなときは

Google アシスタントアプリから直接リンクする

次ページ(33 ページ)を参考に [スマートホーム] を開き、以下の手順②以降をおこないます

- ① [家電リモコンスマートホーム] の [セットアップ] をタップします。
- ② 右下の [+] をタップします。
- ③ 「家電リモコンスマートホーム」を選択します。
- ④ 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
- ⑤ 「リンクしました」のメッセージが表示されます。
- ⑥ 検出された家電がリスト表示されます。
- ⑦ 引き続き、各家電について部屋の割り当てをおこないます。
- ⑧ 部屋の割り当てが終わったら [完了] をタップします。
- ⑨ リンク済みに「家電リモコンスマートホーム」が表示されていることを確認します。「< (戻る)」をタップします。
- ⑩ スマートホームの一覧に、登録済みの家電が表示されます。

ワンポイント 部屋の名称を呼びかけに使う



リビングのデバイスの割り当てが左のような場合、「OK Google, リビングをつけて」でリビングのエアコンと照明がつきます。スマートスピーカーと異なる部屋にある家電も、声で操作できます。

ワンポイント 部屋の割り当ては Google Home アプリでおこなえます

家電リモコンアプリで追加した Google スマートホームデバイスの部屋の割り当ては、Google Home アプリでも可能です。



<目次に戻る>

●こんなときは

家電リモコンスマートホーム (Direct Actions) とリンクされていない

家電リモコンアプリの [Google アシスタントの設定] で登録した家電が、Google Home および Google アシスタントアプリで検出されない場合、[家電リモコンスマートホーム] とリンクされていない可能性があります。家電リモコンアプリの登録アカウントで、リンクをおこなってください。



Google Home アプリの場合

- ① [設定] をタップします。
- ② [その他の設定] をタップします。



Google アシスタントアプリの場合

- ① 画面右上のアイコンをタップします。



家電リモコンスマートホームとリンク

- ① [アシスタント] から [スマートホーム] をタップします。
- ② 右下の [+] をタップします。
- ③ [家電リモコンスマートホーム] をタップします。

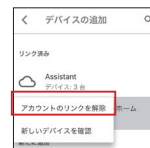
※見つからないときは「家電リモコン」で検索してください。



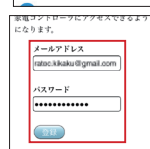
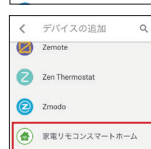
- ④ 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力し、[登録] をタップします。

呼びかけてもうまく動作しない

リンクしているにも関わらずうまく動作しない場合、リンクをいったん解除し、家電リモコンアプリの登録アカウントでリンクをしなおしてください。



- ① [アシスタント]-[スマートホーム] から、リンク済みのデバイスを確認します。
- ② 「家電リモコンスマートホーム」をタップします。
- ③ [アカウントのリンクを解除] をタップします。



- ④ [新たに追加] から「家電リモコンスマートホーム」をタップし、リンクします。

カスタム (Conversational Actions) の設定

家電リモコンアプリ



家電を登録

メール&パスワード

Googleアシスタント



家電リモコン

リンク有効時のメール&パスワード

登録後、「OK Google, 家電リモコンを使って〇〇して」の呼びかけで家電の操作がおこなえます。家電リモコンアプリで家電の登録をしたあと、Googleアシスタントアプリでリンクを有効にします。

1 家電リモコンアプリで Google の設定を選択します



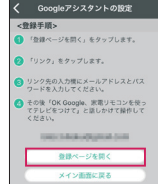
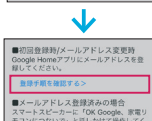
メニューから「Google アシスタントの設定」を選択します。

2 家電を指定します



選択された家電には「G」マークがつかます

※登録可能台数は、テレビ1台、エアコン1台、扇風機1台、カーテン1窓、照明2台まで



- ① [カスタムを選択] をタップします。
- ② 使用するリモコン本体を選びます。
- ③ Google アシスタントに登録する家電をタップします。

ワンポイント テレビは地域の設定が可能
選択した都道府県の放送局名でチャンネル指定できます。

ワンポイント エアコンは温度設定が可能
エアコンをタップすると、各モードの温度設定画面が表示されます。

- ④ 選択したら [登録] をタップします。
 - ⑤ [登録手順を確認する] をタップします。
 - ⑥ [登録ページを開く] をタップします。
- 【iOS】Google アシスタントアプリが入っていない場合は、App Store からダウンロードしてください。

3 Google アシスタントアプリで家電リモコンとリンクします (初回のみ)



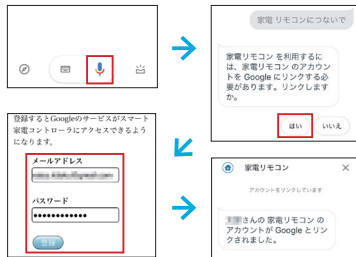
- ① [リンク] をタップします
- ② 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
- ③ 「Actions on Google の登録が成功しました。」が表示されたら完了です。

●こんなときは

家電リモコン (Conversational Actions) とリンクしていない

「OK Google, 家電リモコンにつないで」と話しかけて、リンクしていないと言われるときは、Google アシスタントでリンクの設定をおこなってください。

【iOS】Google アシスタントアプリが入っていない場合は、App Store からダウンロードしてください。



- ① Google アシスタントを開きます。
- ② をタップし "家電リモコンにつないで" と話しかけます。
- ③ 家電リモコンのアカウントリンク確認が表示されたら [はい] をタップします。
- ④ 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを登録します。
- ⑤ "リンクされました" の表示で完了です。

呼びかけてもうまく動作しない

「OK Google, 家電リモコンにつないで」と話しかけて「家電が見つからない」などと言われるときは、Google アシスタントと家電リモコンの連携がうまくいっていない可能性があります（登録メールアドレスの変更時など）。いったんリンクを解除し、Actions on Google を登録しなおしてください。



- ① Google アシスタントを開きます。
- ② 画面下部の アイコンをタップします
- ③ 「アシスタントの機能を検索」欄に「家電リモコン」と入力し検索します。
- ④ "家電リモコンにつないで" を選択します。
- ⑤ [リンクを解除] ボタンをタップします。
- ⑥ [リンク] ボタンをタップします。
- ⑦ 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力します。

Android の場合、④⑤⑥の操作画面は以下のとおりです



スマホ (Google アシスタントアプリ) で音声操作

Google アシスタントアプリで、スマホに話しかけて家電の操作が可能です。発話やルーティンは、スマートスピーカー使用時と同様です。



● Android 端末の場合

「OK Google, ~」 と話しかけます。

● iPhone/iPad の場合

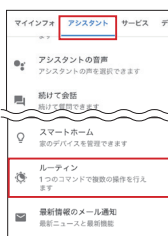
Google アシスタントを起動して 「OK Google, ~」 と話しかけます。

<目次に戻る>

ルーティンの設定

Google アシスタントのルーティン機能を使って、短く自然な対話に近づけることができます。たとえばカスタムでは「家電リモコンを使って」を省略した操作がおこなえます。

1 Google アシスタントアプリでルーティンを選択します



- ① Google アシスタントを起動します。
- ② 右上のアイコンをタップします。

Android の場合は をタップ後、右上のアイコンをタップして [設定] を選択します。



- ③ [アシスタント] からルーティンを選択します。

2 「こう言ったとき」「こう操作をする」を設定します



例では、「家電リモコンを使って 2 チャンネルにして」を「教育テレビにして」と「2 チャンネルにして」に置き換えます。

- ① [+ ルーティンを追加] をタップします。
- ② [コマンドを追加] をタップします。
- ③ 言い換え後の発話 (複数の指定可能) を入力して、[OK] をタップします。
- ④ 「アシスタントが行う操作」の [+ 操作の追加] をタップします。
- ⑤ 言い換え前の発話を入力し、[追加] をタップします。(複数操作の追加が可能)
- ⑥ [保存] をタップします。



スケジュール機能で発話したときと同じ動作をさせる

カスタムで登録したルーティンは、日時の指定が可能です。例えば、「OK Google、カーテンを開けて」で登録した操作を、平日朝 7 時に実行するなどもできます。



[日時を設定] をタップ



時刻と曜日を指定して戻る



スケジュール設定完了

Siri ショートカットに登録

iPhone で Siri に話しかけて音声操作をする方法についてご紹介します。

Siri ショートカットは、iOS 12 より搭載された機能です。ショートカットに家電リモコンのボタンやマクロを登録して、「Hey Siri、おやすみ」など音声で家電を操作できます。



アップル製スマートスピーカー HomePod では、Siri ショートカットを使った家電の操作が可能です。同じ Apple ID の iPhone を、同じ Wi-Fi ネットワーク上に接続します。

HomePod で Siri ショートカットが動作しない場合は ⇒ [71 ページ](#)

サポートする音声操作

家電の種類に関係なく、任意のボタンに Siri を追加できます。マクロにも Siri を追加できます。

リモコンボタンを Siri に追加

家電リモコンアプリのリモコン画面から、声で操作したいボタンとフレーズを指定します。以下では「カーテンを開けて」で、電動カーテンの OPEN を実行します。



[<目次に戻る>](#)

マクロを Siri に追加

マクロを作成後、編集画面から Siri に追加を選択します。

以下では「おやすみなさい」で、テレビと照明の電源オフを実行します。



① メニューから [マクロ (一覧 / 設定)] を選択します。

② フレーズを登録するマクロ (以下では「おやすみ」) をタップします。

③ Siri の追加画面が表示されます。「音声コマンド」に呼びかけるフレーズを入力します。

④ 「Siri に追加」をタップします。

※ iOS 12 では、フレーズを音声で入力します

ショートカットの確認・編集・削除



登録済み Siri ショートカットの確認、削除、編集は、ショートカットアプリからおこないます。起動すると、まショートカットが表示されます。

※ iOS 12 では、iOS の設定にある「Siri と検索」から、編集、削除をおこないます。



フレーズの編集、ホーム画面に追加など

① 編集したいショートカットの (⋯) をタップします。

② さらに (⋯) をタップし、編集をおこないます。終わったら、[完了] をタップします。

③ 終わったら、[完了] をタップします。

Siri から削除

① ショートカットアプリを起動します。

② [編集] をタップします。

③ 削除するショートカットにチェックを入れます。

④ ゴミ箱をタップします。

⑤ メッセージの [削除] をタップします。

ショートカットアプリで設定

ショートカットアプリでは、他のサービスと組み合わせてワンフレーズで実行可能です。家電リモコンアプリ上でタップした直近 30 件程度のリモコンボタンとマクロが、候補の一覧に表示されます。

以下では「全部消して」で、「おやすみ」のマクロとミュージック再生を実行します。

1 リモコンボタン（マクロ）を登録します



- ① ショートカットアプリを起動します。
- ② [ショートカットを作成] をタップします。
- ③ [アクションを追加] をタップします。
- ④ 「候補」から登録するマクロを選択します。
- ⑤ [+] をタップし、次のアクションを追加します。

2 待機時間と音楽再生を登録します



- ① [スクリプティング] をタップします。
- ② [待機] をタップします。
- ③ [+][-] ボタンで待ち時間を調整します。
- ④ [+] をタップし、次のアクションを追加します。
- ⑤ App から [ミュージック] をタップします。
- ⑥ [ミュージックを再生] をタップします。
- ⑦ [ミュージック] をタップし、曲を選択します。

3 フレーズなどの設定をおこないます



- ① (完了) をタップします。
- ② [アイコン] と [名前] を指定します。
- ⑤ 設定が終わったら [完了] をタップします。

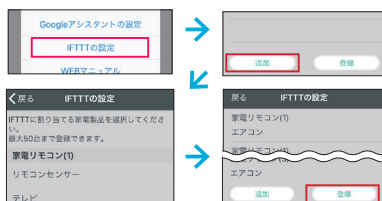
ワンポイント ホーム画面に追加

アイコンをホーム画面に表示して、ワンタップでショートカットを実行できます。



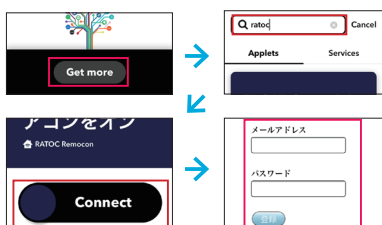
IFTTT の設定

1 家電リモコンアプリで Google の設定を選択し、家電を登録します



- ① メニューから「IFTTT の設定」を選択します。
- ② 「追加」を選択します。
- ③ 一覧から家電を選択します。(センサー値取得時は「リモコンセンサー」を選択)
- ④ [登録] をタップします。

2 IFTTT アプリで RATOC Remocon アプリを有効にします



- ① [Get more] をタップします。
- ② 「RATOC」で検索します。
- ③ アプレットを選択し [Connect] をタップします。
- ④ 初回 RATOC Remocon のアプレット使用時に、アカウント入力画面が表示されます。家電リモコンアプリの登録アカウントを入力します。

3 アプレットを作成します

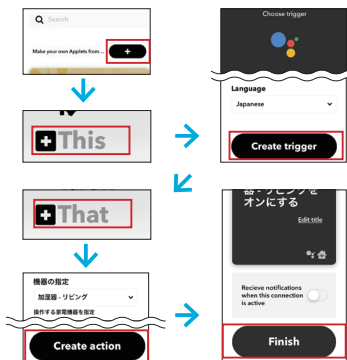
● 既存のアプレットを利用



例では自宅に近づいたらエアコンをつける設定をします

- ① 「RATOC」で検索します。
- ② アプレットを選択し [Connect] をタップして ON にします。
- ③ 設定を入力して [Save] をタップします。

● 新規のアプレットを作成



例では Google アシスタントに「加湿器をつけて」というと電源が入る設定をします

- ① [Get more] から「Make your own Applets from scratch」の [+] をタップします。
- ② [This] をタップし、サービスを検索します。
- ③ 設定を入力して [Create Trigger] をタップします。
- ④ [That] をタップし、サービスを検索します。
- ⑤ 設定を入力して [Create Action] をタップします。
- ⑥ [Finish] をタップします。

my daiz™ (マイデイズ) との連携

家電くんの登録と操作についてご紹介します。

家電くんは、NTTドコモが提供するサービス my daiz™ (マイデイズ) のメンバーです。家電くんに登録すると、音声および画面操作で家電をコントロールできます。

※ 「my daiz」は、株式会社NTTドコモの商標です。

サポートする音声操作

「マイデイズ、テレビをつけて」「マイデイズ、冷房 28 度でつけて」など、「マイデイズ、〇〇して」と呼びかけます。

家電の種類	接続台数	操作範囲	備考
テレビ	1 台	電源のオンオフ、チャンネルの切り替え、音量の変更、消音設定	画面上で放送波の変更なども可能
エアコン	1 台	電源のオンオフ、温度、運転モードの変更	画面で温度・湿度の確認も可能
照明	1 台	電源のオンオフ、照度の調整	画面で照度の確認も可能

家電の操作例

「マイデイズ、家電くんを開いて」でトップ画面を表示します。以下、エアコンでの例を示します。

家電くんトップ画面

音声で操作

マイデイズ、冷房28度でつけて

タップで操作

テキスト入力で操作

発話例を表示

リモコンで操作

[<目次に戻る>](#)

家電くんの設定

1 my daiz™アプリで家電くんを登録します



- ① [三] - [メンバーを探す] をタップします。
- ② 「家電くん」を検索し、検索結果をタップします。
- ③ [登録する] をタップします。

2 家電くんの画面でログインします



- ① [家電登録・管理] をタップします。
- ② 家電リモコンアプリで登録したメールアドレスとパスワードを入力します。
- ③ [ログイン] をタップします。

3 家電を登録します



- ① 家電の種類を選択します。
- ② 家電リモコン本体を選択します。
- ③ 家電のメーカーを選択して [次へ] をタップします。
- ④ 家電の型番を選択して [登録確認] をタップします。
- ⑤ 家電の名前を入力して [登録] をタップします。

ワンポイント 適用するリモコンデータについて

家電くんにプリセットされているリモコンを指定します。家電リモコンアプリに登録したリモコンデータは、適用できません。

登録後の詳細は、操作画面内にある「家電くんの使い方」をお読みください。

●制限事項

エアコンのうち、冷房/暖房などのボタンを2度押しすると停止する機種については、動作対象外になります。

[<目次に戻る>](#)

リモコンアイコンの編集

登録した家電製品のリモコンは次のような変更や削除などができます。

登録したリモコンの名前や色を変更したり、使用しなくなったリモコンを削除したりすることができます。アイコンの位置を移動することもできます。

リモコンの名前を変更する



選択したリモコンに新しい名前を付けます。
⇒ 44 ページ

リモコンを削除する



選択したリモコンを削除します。
⇒ 45 ページ

リモコンアイコンの色を変更する



選択したリモコンアイコンの色を変更します。
⇒ 45 ページ

リモコンアイコンを移動する



リモコンのアイコンを並び替えます。アイコンをドラッグして移動します。
⇒ 45 ページ

※ iPhone/iPad はリモコンアイコンの移動に対応していません。

リモコンの名前を変更する



1 リモコンアイコンの編集で [名前変更] を選択



例では、「テレビ」の名前を変更します。

- ① リモコンアイコンをロングタップします。
- ② [名前変更] をタップします。

2 新しい名前を入力して変更完了



- ① 新しい名前を入力します。
- ② [OK] をタップします。

リモコンを削除する



1 リモコンアイコンの編集で [削除] を選択



例では、「エアコン」を削除します。

- ①リモコンアイコンをロングタップします。
- ② [削除] をタップします。

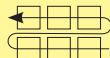
2 削除完了



[はい] をタップします

ワンポイント アイコンは自動で再整理

削除分は、水平方向につめて表示されます。



リモコンアイコンの色を変更する



1 リモコンアイコンの編集で [色変更] を選択



例では、「エアコン」の色を変更します。

- ①リモコンアイコンをロングタップします。
- ② [色変更] をタップします。

2 置き換えたい色を選んで完了



置き換えたい色のアイコンをタップします。

リモコンのヘッダーも選択色になります。



リモコンアイコンを移動する (Android のみ)



1 リモコンアイコンの編集で [順番入替] を選択



①リモコンアイコンをロングタップします。

② [順番入替] をタップします。

2 アイコンをドラッグして移動完了



例では「テレビ」を1つ下に移動します。

アイコンを、移動したい場所までドラッグします。

[<目次に戻る>](#)

ボタンの編集

リモコン上のボタンを編集できます。

ボタンの再学習・追加

学習のやり直し
追加で学習



ボタンのリモコン信号の変更や追加をおこないます。⇒ 47 ページ

学習内容を削除する



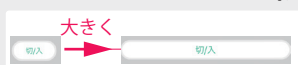
リモコンのボタンを削除します。
⇒ 48 ページ

ボタンの名前を変更



ボタンの名前を変更します。
⇒ 48 ページ

ボタンの大きさを変える (列数変更)



ボタンの配列を変更します。
⇒ 49 ページ

ボタンを移動する (Androidのみ)



ボタンのドラッグで、ボタンの並び順を変更します。⇒ 49 ページ
※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。

ボタンの編集可能範囲について

リモコン画面のボタンには、標準ボタン（テンプレート化された電源ボタンや方向ボタンなど）とカスタムボタン（編集可能な四角いボタン）があります。（⇒ 15 ページ）ボタンの種類によって、編集できる範囲が異なります。

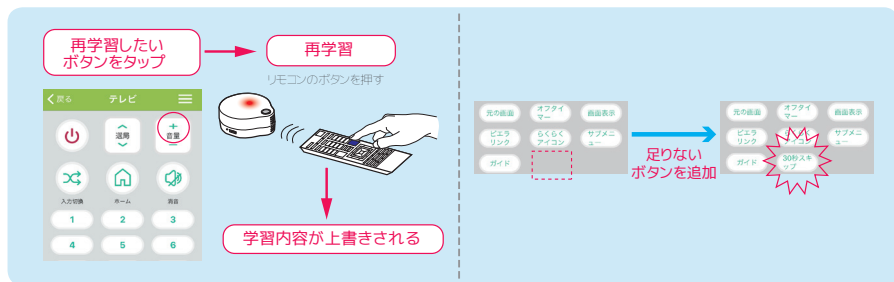
【テレビのリモコン画面の場合（一例）】



	標準ボタン (レイアウト固定)		カスタムボタン (レイアウト可変)	
	iPhone/iPad	Android	iPhone/iPad	Android
新規 / 再学習	○	○	○	○
学習内容削除	○ (グレー表示) 	○ (非表示) 	○ (非表示)	○ (非表示)
名前変更	×	×	○	○
列数変更	×	×	○	○
移動	×	×	×	○

ボタンの再学習・追加

登録済みのボタンの学習しなおしや、足りないボタンの追加がおこなえます。



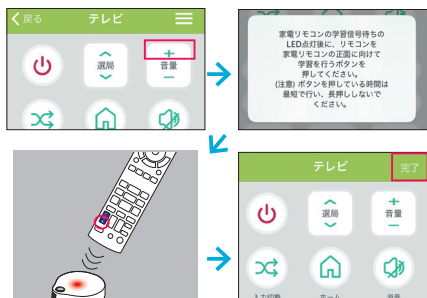
1 リモコン画面から [新規 / 再学習] をタップ



- ①リモコン画面の [メニュー] から [新規 / 再学習] をタップします。
- ② [OK] をタップします。

2 ボタンの再学習をおこなう

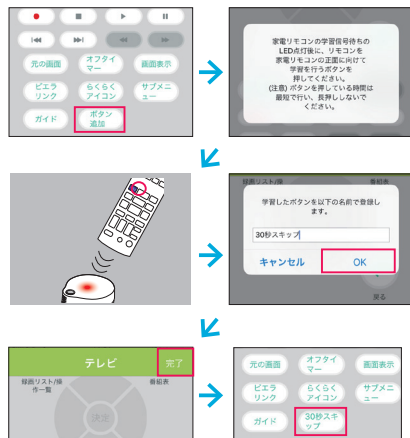
例では、「音量+」を再学習します。



- ①画面のリモコンボタンをタップします。
- ②赤色 LED 点灯中に、リモコンのボタンを本体に向かって押します。
- ③ [完了] のタップで終了します。

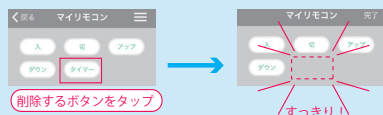
2 ボタンの追加をおこなう

例では、「30秒スキップ」を追加します。



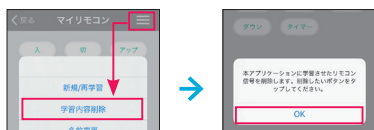
- ①画面の [ボタン追加] をタップします。
- ②赤色 LED 点灯中に、リモコンのボタンを本体に向かって押します。
- ③ [完了] のタップで終了します。

学習内容を削除する



リモコン画面から不要なボタンを取り除きます。

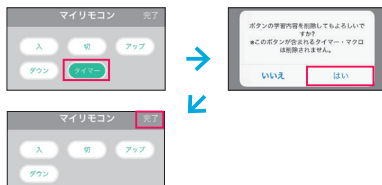
1 リモコン画面の [メニュー] から [学習内容削除] をタップ



①リモコン画面の [メニュー] から [学習内容削除] をタップします。

② [OK] をタップします。

2 選択したボタンが削除される



例では、「再生」を削除します。

① 削除したいボタンをタップします。

② [はい] をタップします。

③ [完了] のタップで終了します。

ボタンの名前を変更する



ボタンに表示されている名前を変更します。

1 リモコン画面から [名前変更] を選択



①リモコン画面の [メニュー] から [名前変更] をタップします。

② [OK] をタップします。

2 選択したボタンに新しい名前を入力して完了



①変更するボタンをタップします。

②名前を入力して [OK] をタップします。

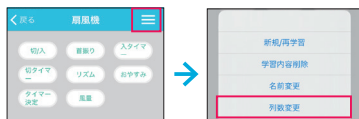
③ [完了] をタップします。

ボタンの大きさを変える（ボタン列数変更）



ボタンの大きさが変わる！
列数を変更するとボタンの大きさが変わります。

1 リモコン画面の [メニュー] から [列数変更] をタップ

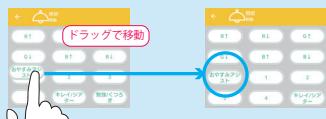


2 列数を選択するとボタンの大きさが変わります



例は列数を「1」に変更した場合です。

ボタンを移動する（Androidのみ）



ボタンの並び替えができます。ボタンは自動的に、スペースを空けることなく整列します。

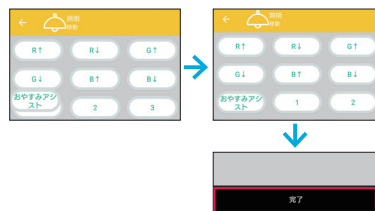
※ iPhone/iPad はボタンの移動に対応していません。

1 リモコン画面の [メニュー] から [移動] をタップ



- ① リモコン画面の [メニュー] から [移動] をタップします。
- ② 移動可能なボタンが表示されます。[OK] をタップします。

2 ボタンをドラッグして並び替え



例では、「おやすみアシスト」を「1」の位置に移動します。

- ① ボタンをロングタップします。
- ② ボタンをドラッグし、移動先で指を離します。「おやすみアシスト」が移動しました。
- ③ [完了] のタップで終了します。

[＜目次に戻る＞](#)

家電リモコンの便利な機能

タイマーやマクロなど使ってみましょう。

アプリには、登録したリモコン画面の直接操作ほか、次のような機能があります。

タイマー予約をする

指定した時刻や曜日に家電製品を操作します。⇒ [50 ページ](#)

マクロで複数の操作を登録する

一度タップするだけで、複数の操作を実行します。⇒ [54 ページ](#)

オリジナルリモコンを作成する

よく使うボタンだけ集めたリモコンを作成します。⇒ [56 ページ](#)

よく使うボタンを iOS の通知センターに追加する

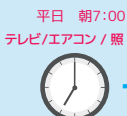
ショートカットを iOS の通知センターに追加します。⇒ [58 ページ](#)

よく使うボタンを Android のホーム画面に追加する

ウィジェットを Android のホーム画面に追加します。⇒ [59 ページ](#)

指定した時刻や曜日に家電製品を操作

タイマー予約をする



アプリからタイマーをセット。指定時刻に、製品本体からリモコン信号を送信します。

1 メイン画面の [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択



- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② [タイマーを追加する] をタップします。
- ③ [+ (追加)] をタップします。

2 家電製品の動作を設定する



例では、テレビの電源オンを登録します。

- ① 家電製品をタップします。
- ② リモコンボタンをタップします。

ワンポイント タイマーの対象外リモコン

マクロ・オリジナルリモコンは、タイマー登録できません。

- ③ 同じグループに複数の操作を指定する場合は、[+ (追加)] をタップし、上記と同様に登録します。

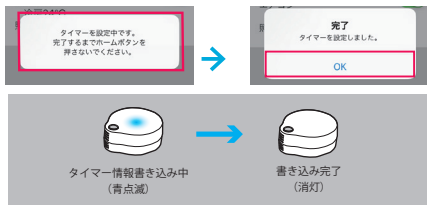
3 時刻を指定してアプリに登録



例では、平日 7:00 に設定します。

- ① [繰り返し] をタップします。
- ② [平日] を選択し、7:00 にあわせませす。
- ③ [次へ] をタップします。
- ④ [完了] をタップします。

4 製品本体にタイマー情報を書き込んで完了



タイマー情報のセットが開始されます。製品本体の LED が青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

ワンポイント タイマーセット時のご注意

タイマーセット時は、スマホを本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続しておいてください。(外出先からはセットできません)

ワンポイント 設定できるタイマーは 28 件まで

タイマー情報は日時情報、操作ごとのカウントとなります。例えば繰り返しで平日 7:00 にテレビ・エアコン・照明の電源を ON にする予約の場合、5 日分 (月～金) × 3 操作で 15 件となります。

●スマートスピーカーの日時指定を活用する

Alexa アプリの定型アクションや Google アシスタントアプリのルーティンには、実行条件として曜日と時刻を指定する機能があります。タイマーの拡張として、あわせてご利用ください。

Amazon Alexa 定型アクション ⇒ [27 ページ](#) Google アシスタント ルーティン ⇒ [36 ページ](#)

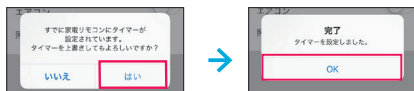
タイマーのオフ / オン

1 メイン画面の [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択



- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② 一覧から、オン / オフを切り替えます。
- ③ [完了] をタップします。

2 製品本体のタイマー情報を上書きして完了



タイマー情報の上書きが開始されます。製品本体の LED が青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

ワンポイント タイマー情報は上書きされます

別のスマホからタイマーのセットをおこなうと、本体に書き込まれていたタイマー情報は消去されます。複数スマホで設定時はご注意ください。

[<目次に戻る>](#)

タイマーを削除する



→ タイマーを削除します。⇒ 52 ページ

→ タイマーに登録されている操作を削除します。⇒ 53 ページ

タイマーを削除する

iPhone/iPad の場合

1 削除したいタイマーを選択する



例ではエアコンのタイマーを削除します。

- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② [削除・並び替え] をタップします。
- ③ エアコンの [－] をタップします。
- ④ [削除] をタップします。

2 削除を実行する



- ① [完了] をタップします。
- ② 次の画面でもう一度 [完了] をタップします。

タイマー情報の上書きが開始されます。製品本体のLEDが青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

Android の場合



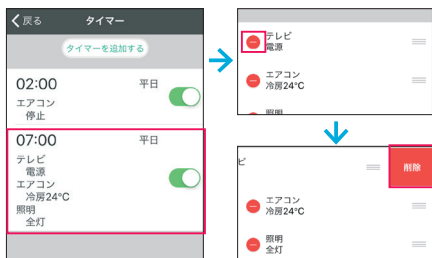
- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② タイマーをロングタップします。
- ③ [削除] アイコンをタップします。
- ④ 削除確認が表示されます。[はい] をタップします。
- ⑤ [完了] をタップします。

タイマー情報の上書きが開始されます。製品本体のLEDが青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

タイマーから1つの操作を削除する

iPhone/iPad の場合

1 タイマーから削除したい操作を選択する



例では、タイマーからテレビの操作だけを削除します。

- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② 編集するタイマーをタップします。
- ③ テレビの [-] をタップします。
- ④ [削除] をタップします。

2 削除を実行する

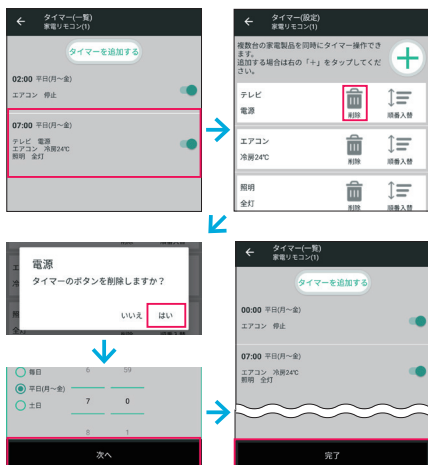


- ① [次へ] をタップします。
- ② [完了] をタップします。

タイマー情報の上書きが開始されます。
製品本体のLEDが青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

家電リモコンの便利な機能

Android の場合



例では、タイマーからテレビの操作だけを削除します。

- ① [メニュー] から [タイマー (一覧 / 設定)] を選択します。
- ② 編集するタイマーをタップします。
- ③ テレビの [削除] をタップします。
- ④ [はい] をタップします。
- ⑤ [次へ] をタップします。
- ⑥ [完了] をタップします。

タイマー情報の上書きが開始されます。
製品本体のLEDが青点滅から消灯に変わると、書き込み完了です。

便利に使う

ボタンひとつで一連の操作が完了

マクロで複数の操作を登録する



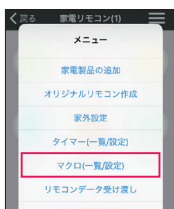
同時に電源 ON



一度タップするだけで、複数の家電製品の電源を入れる等の操作ができます。

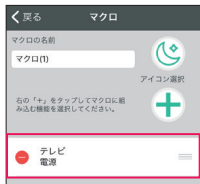
家電リモコンの便利な機能

1 メイン画面の [メニュー] から [マクロ (一覧 / 設定)] を選択



- ① [メニュー] から [マクロ(一覧 / 設定)] を選択します。
- ② [マクロを追加する] をタップします。
- ③ [+ (追加)] をタップします。

2 マクロを登録する



例では2つの操作を設定します。
(1) テレビの [電源] を押す
(2) レコーダーの [電源] を押す

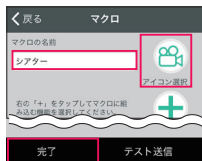
- ① [テレビ] をタップします。

ワンポイント マクロの対象外リモコン
オリジナルリモコンは対象外です。

- ② [電源] をタップします。

上記手順で、操作 (2) も登録します。

3 マクロの名前をつけて保存



- ① [アイコン選択] をタップし、選択します。
- ② 名前をタップし、編集します。
- ③ [完了] をタップします。

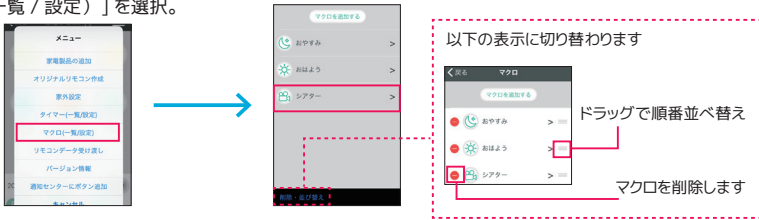
ワンポイント メイン画面のアイコン
マクロのアイコンには「M」が付きま



マクロを編集する

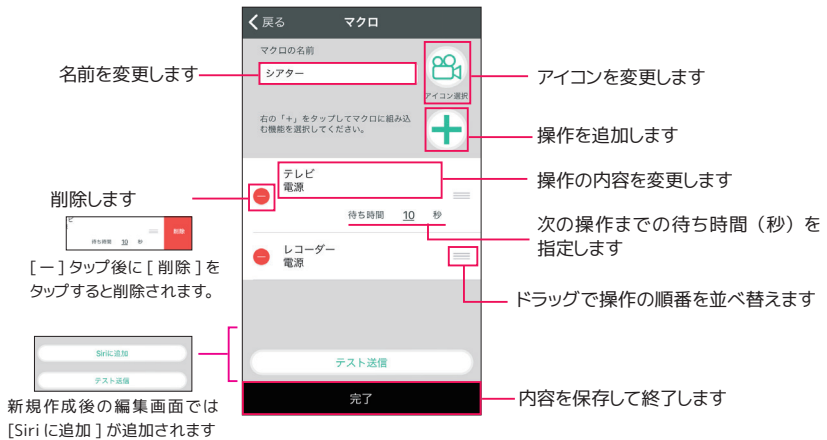
登録済みのマクロは、あとで編集することができます。

- ① [メニュー] から [マクロ (一覧/設定)] を選択。
- ② 編集するマクロを選択。

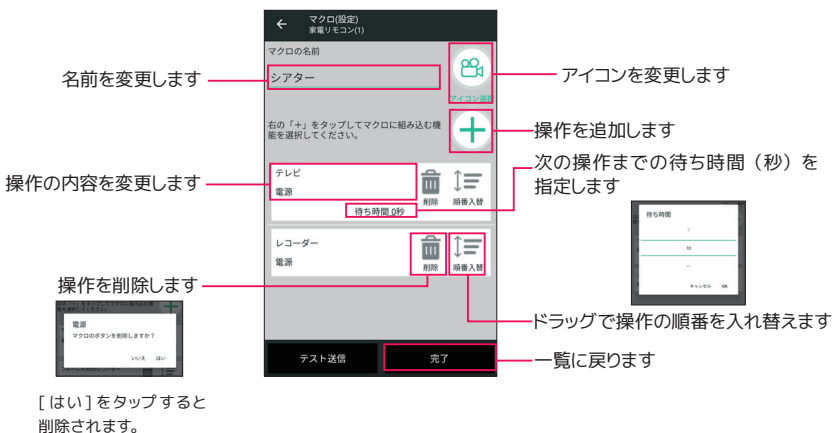


家電リモコンの便利な機能

iPhone/iPad の場合



Android の場合



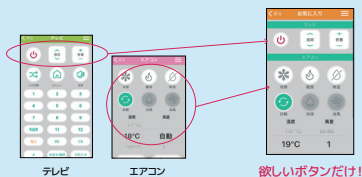
便利に使う

<目次に戻る>

よく使うボタンだけあつめたリモコンを作成

オリジナルリモコンを作成する

登録済みのリモコンの中からよく使うボタンだけを集めて、ひとつのリモコンを作成します。メイン画面にアイコンが登録されます。



●オリジナルリモコンで利用できない機能・設定

- マクロ●タイマー●リモコンデータの受け渡し

※ iOS では、同じ種類の標準ボタンは選択できません。

(例：テレビ電源とレコーダー電源の登録、2種類のエアコンの登録など)

1 オリジナルリモコンに名前とアイコンとつけます

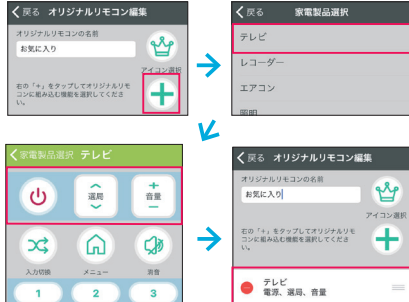


① [メニュー] から [オリジナルリモコン作成] をタップ

② 名前をタップし、編集します。

③ [アイコン選択] をタップし、選択します。

2 登録済みのリモコンからボタンを選択します



例では、テレビの電源ボタンを登録します。

① [追加] をタップします。

② 登録済みリモコンのリストから、リモコンを選択します。

③ 電源ボタン (グループ) をタップします。

ワンポイント 標準ボタンの選択はグループ単位
選択時に表示される枠内のボタンすべてが、
オリジナルリモコンに登録されます。

上記手順で、他のボタンも追加します。

3 [完了] をタップすると作成完了



[完了] をタップします。

ワンポイント メイン画面のアイコン
オリジナルリモコンのアイコンには
「O」がつけます。



● ボタンひとつでテレビの3桁入力

ボタンひとつで
3桁チャンネルに切替

マクロをタップ

マクロ設定内容 (例)

BS 3桁入力 2 5 8

BS 放送 258ch への変更操作を、ひとつのボタンにまとめる例を挙げます。



- ① [追加] をタップします。
- ② [テレビ] をタップします。
- ③ [BS] をタップします。



[+ (追加)] で残りの操作も登録します。

ワンポイント チャンネル番号のモード

チャンネル番号タップ時に表示されるモード選択は、BS 指定の場合 [BS] を選択します。



- ④ 設定する待ち時間をタップします。
- ⑤ 待ち時間 (秒) を入力します。



残りの待ち時間も登録します。



- ⑥ 登録がすべて終わったら [完了] をタップします。

操作時は、メイン画面のアイコン (マクロアイコンには "M" がつきます) をタップします。

ウィジェットからすぐに家電製品を操作

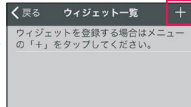
ボタン / マクロを iOS の通知センターに追加する



よく使うリモコンのボタンやマクロを iOS の通知センターにウィジェットとして追加します。アプリ切り替えの手間なく、すばやく目的の操作ができるようになります。

家電リモコンの便利な機能

1 メイン画面の [メニュー] から [通知センターにボタン追加] をタップ



- ① [メニュー] - [通知センターにボタン追加] をタップします。
- ② [+] をタップします。

2 ウィジェットに設定したいリモコンボタンを登録



例では、照明の全灯ボタン、マクロの「おはよう」を登録します。

- ① 設定したい家電製品またはマクロをタップします。家電製品の場合は、リモコンのボタンをタップします。
- ② ウィジェットの設定が登録されました。

3 通知センターの編集

※以下は iOS13 のウィジェット画面です。他のバージョンでは操作が若干異なります。



通知センターの表示は、画面を上から下→左から右の順にフリックします。

- ① 通知センター下部の [編集] をタップします。
- ② [≡] をドラッグして家電リモコンを移動し、[完了] をタップします。

通知センターに追加されました。



こんなときは ウィジェットを削除したい

ウィジェット一覧からの削除と、通知センター上での削除をおこないます。



ボタンを Android のホーム画面に追加する

よく使うリモコンやボタン、マクロを Android のホーム画面にウィジェットとして追加します。ウィジェットを使用すれば、アプリの一覧画面からアプリを探す手間なく、すばやく目的のリモコン操作をできるようになります。

※以下は XPERIA Z4 のウィジェット画面です。他の機種では操作が若干異なります。

1 ホーム画面から [ウィジェット] をタップ



- ① Android ホーム画面の空いている部分をロングタップします。
- ② [ウィジェットを表示] をタップします。

2 [家電リモコン] をロングタップ



- ① [家電リモコン] をロングタップします。
- ② ウィジェットを置きたい位置にドラッグして指を離します。

3 ウィジェットに設定したいリモコン、マクロを選択する



設定したい家電製品またはマクロをタップします。

家電製品を選択した場合

ボタンをタップするとそのボタンを実行するウィジェットを作成します

リモコンの画面を開くウィジェットを作成します

●ウィジェットを削除したいとき



ウィジェットをロングタップすると、削除メニューが表示されます。ウィジェットを、削除メニューまでドラッグしてください。

※アプリで家電やマクロを削除しても、ウィジェットは削除されません。

いえそと 家外での使用

家の外からでも家電製品を操作できます。

利用無料

本製品と異なるネットワーク上にあるスマホからも、家電製品を操作ができます。また、製品本体が取得した温度・湿度・照度から、室内の環境を知ることができます。

家外での使用

外出先から家電製品を操作する



例えば、帰宅前にエアコンを遠隔操作し、室内を快適にしておくことができます。

⇒ 62 ページ

外出先から温度・湿度・照度を確認する



例えば、エアコン運転の目安にできます。

⇒ 62 ページ

警告温度を超えたら通知する（センサーアラート機能）



あらかじめ設定した温度範囲を超えると、アプリがお知らせします。

⇒ 63 ページ

※家外での使用は無料でご利用いただけますが、このサービスで使用するクラウドとの通信費はお客様の自己負担となります。なお、このサービスは弊社ホームページにてお客様に事前の通知をしたうえで中止する場合があります。
※クラウドサーバーや通信機器・通信回線の不具合により、操作が正常におこなえない場合に発生した問題については、弊社では保証いたしません。

外出先では利用できない機能があります

外出先からは、以下の機能が使用できません。

- タイマー設定
- 本体ファームウェアの更新

便利に使う

外出先と家の中の両方で使用するなら

いえそと

家外での使用を有効にする

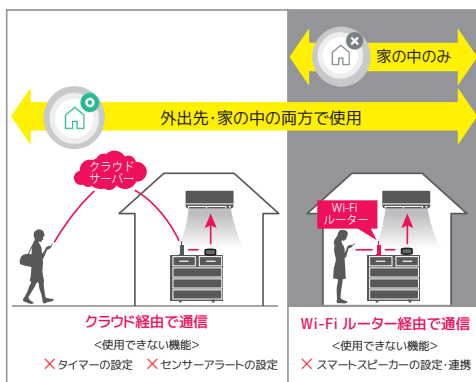
●通常、家外での使用は有効に設定されています

家外での使用の初期値は「有効」です。スマートスピーカーを使用するとき、外出先から家電を操作するときは、必ず有効にしておいてください

家外での使用が「有効」と「無効」の違い

右のように使用できる範囲が異なります。

「家外有効」は、外出先と家の中の両方で使用できる設定です。家外有効時は、外出時、クラウド経由の接続に自動的に切り替わります。家の中ではクラウドサーバーを経由せず、リモコン登録やタイマー設定などアプリのすべての機能を使用することができます。



家外での使用

1 メイン画面の [メニュー] から [家外設定] を選択

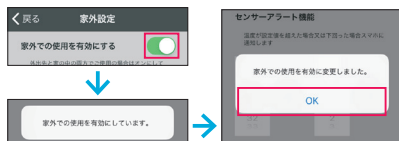


- ① [メニュー] をタップします。
- ② [家外設定] をタップします。

ワンポイント 同じネットワーク上でのみ設定可能
スマホの Wi-Fi 設定は、本製品と同じ接続先
にしておいてください。

便利に使う

2 「家外での使用を有効にする」を [ON] にする



- ① スイッチをタップし [ON] にします。
- ② 本体への書き込みが終わったら、[OK] をタップします。

ワンポイント 家外有効 / 無効の確認

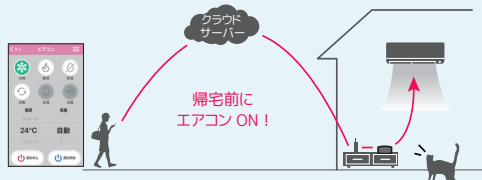
各製品の家外有効 / 無効は、家電リモコン一覧に表示されます。最新の状態は、「家電リモコンを再検索」で取得できます。



家電リモコン一覧

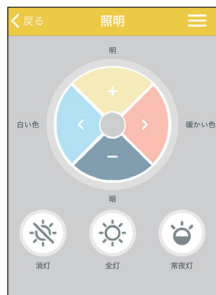
<目次に戻る>

外出先から家電製品を操作する



「帰宅までにエアコンで快適にしておきたい」「不在時もペットのために温度管理したい」「防犯のために部屋の照明をつけたい」といった運用ができます。

家外での使用



操作手順は、自宅で操作時と同様です。

ワンポイント 家外有効時のみ操作可能

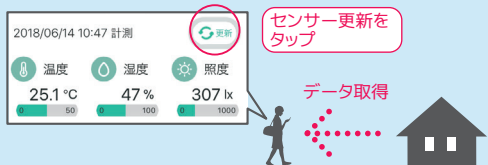
外出先から操作する場合は、あらかじめ自宅で家外を有効に設定しておく必要があります。

こんなときは エラーメッセージがでる

「現在家外からの家電操作・センサー値取得が利用できません」と表示されたときは、もう一度リモコンのボタンをタップしてください。

離れた場所からでも室内の環境を知る

外出先から温度・湿度・照度を確認する



本体に搭載しているセンサーではなかった温度・湿度・照度は、アプリ上で確認できます。エアコンや照明のオン、オフや設定などの目安になります。

便利に使う



更新 をタップすると、現在の温度・湿度・照度に更新されます。

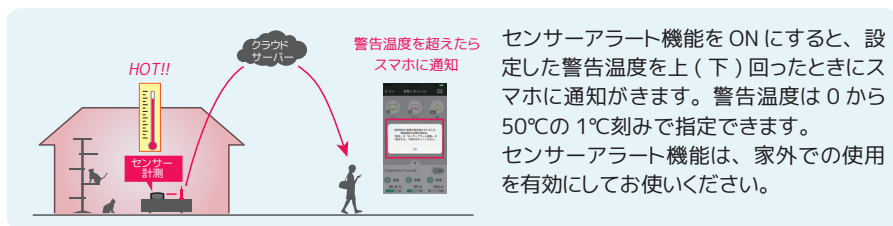
ワンポイント センサーの稼働について

製品本体の電源オンから30分間は、センサーの準備ができていないため、温度・湿度が表示できません。

ワンポイント 家外有効時のみ外から確認可能

外出先で温度・湿度・照度を見るには、あらかじめ自宅で家外を有効にしておく必要があります。家外無効時は、自宅のWi-Fi ルーターに接続時のみ、値の表示が可能です。

警告温度を超えたら通知する（センサーアラート機能）



センサーアラート機能を ON にすると、設定した警告温度を上（下）回ったときにスマホに通知がきます。警告温度は 0 から 50℃の 1℃刻みで指定できます。センサーアラート機能は、家外での使用を有効にしてお使いください。



① [メニュー]-[家外設定] をタップします。

② 家外での使用が有効になっていることを確認します。

ワンポイント 家外有効時のみ設定可能

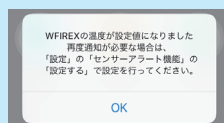
センサーアラートの設定画面は、家外有効時のみ表示されます。

③ 温度を選択し、スイッチを [ON] にします。

④ [設定する] をタップします。

⑤ [OK] をタップします。

警告温度を超えると表示される警告メッセージ



家外での使用

便利に使う

リモコンデータを他のスマホにコピー

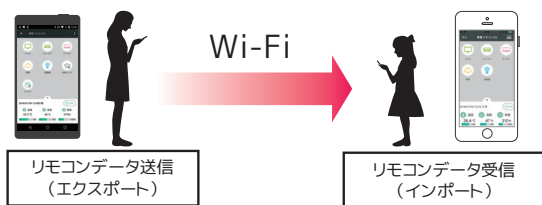
リモコンデータを共有すればリモコン登録の手間が省けます。

リモコンのデータはスマホに保存されています。機種移行や家族のスマホに同じリモコンを登録したい場合は、アプリのリモコンデータ受け渡し機能を利用してスマホ間でデータの受け渡しをおこなってください。

リモコンデータ受け渡しの基本イメージ

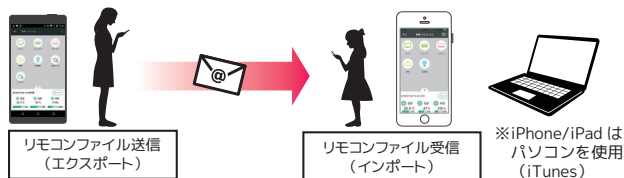
●スマホ間で受け渡し ⇒ 65 ページ

Wi-Fi ルーターに接続されているスマホ同士なら、家電操作アプリ間でのデータ送受信が可能です。



●ファイルをインポート / エクスポート (メール送受信) ⇒ 66 ページ

異なるネットワークに接続されているスマホにはメールでファイルを転送。リモコンデータのバックアップとしても活用できます。



リモコンデータの受け渡しで転送できない機能があります

次の機能については、それぞれのスマホで設定をおこなってください。

- オリジナルリモコン
- マクロ
- タイマー

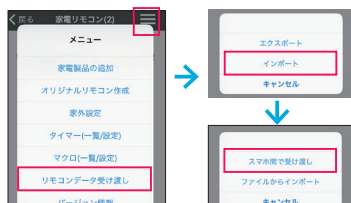
同じルーターに接続された端末間でリモコンデータを送受信

スマホ間でリモコンデータの受け渡しをおこなう



リモコンデータの送受信をおこなう端末は、本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続しておきます。リモコンデータ送信側に Android 端末、受信側に iPhone を使用した場合は例として説明します。

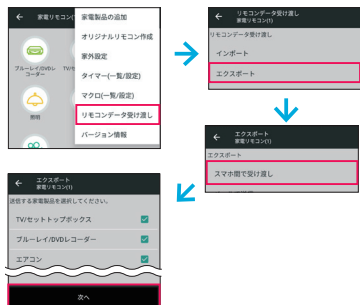
リモコンデータ受信の準備 (iPhone/iPad)



- ① メニューから [リモコンデータ受け渡し] をタップします。
- ② [インポート] をタップします。
- ③ [スマホ間で受け渡し] をタップします。
- ④ 受信待ちの状態になりました。

リモコンデータの受信待ちです。

リモコンデータ送信の準備 (Android 端末)



- ① メニューから [リモコンデータ受け渡し] をタップします。
- ② [エクスポート] をタップします。
- ③ [スマホ間で受け渡し] をタップします。
- ④ 送信したい家電を選択します。
- ⑤ [次へ] をタップします。

● iPhone のリモコンデータを送信する場合

すべてのリモコンを一括で転送するか、ひとつずつ転送するかを選択します。

1. [リモコンデータ受け渡し]-[エクスポート] をタップします。
2. すべてのデータを送信するときは [一括]、ひとつずつ選択して送信するときは [個別選択] をタップします。(図1)
3. [個別選択] をタップした場合は、リモコンの一覧が表示されます。(図2)



(図1)



(図2)

送受信完了

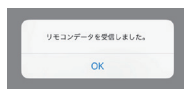
○送信側

[リモコンデータを送信しました] のメッセージが表示されます。



○受信側

[リモコンデータを受信しました] のメッセージが表示されます。



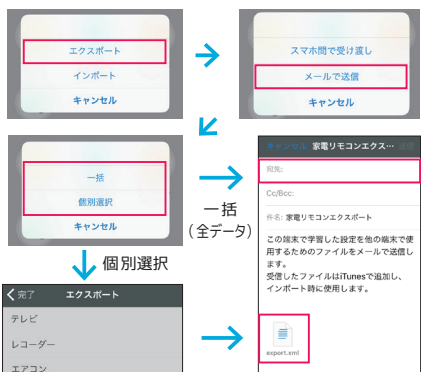
[<目次に戻る>](#)

エクスポートファイルをメール送信



エクスポートファイルを作成して、メールを送信します。

iPhone/iPad の場合



リモコンを選択(1件のみ)

- ①メニューから [リモコンデータ受け渡し] を選択します。
- ② [エクスポート] をタップします。
- ③ [メールで送信] をタップします。
- ④一括または個別選択をタップします。
- ⑤メールアプリが起動し、エクスポートファイルが添付されていることを確認します。
- ⑥宛先を入力してメールを送信します。

Android 端末の場合

Android6 以降では、設定からメールアプリ (Gmail など) のストレージ読み書きを許可しておいてください。



- ①メニューから [リモコンデータ受け渡し] を選択します。
- ② [エクスポート] をタップします。
- ③ [メールで送信] をタップします。
- ④エクスポートする家電を選択します。
- ⑤ [次へ] をタップします。
- ⑥メールアプリを選択します。(例は Gmail)
- ⑦宛先を入力して送信します。

iPhone/iPad にインポートする (WindowsPCの場合)



1 メールを受信し添付ファイルをダウンロードする



デスクトップ等に export.xml を保存します。

2 iTunes から iPhone/iPad にファイルを転送する

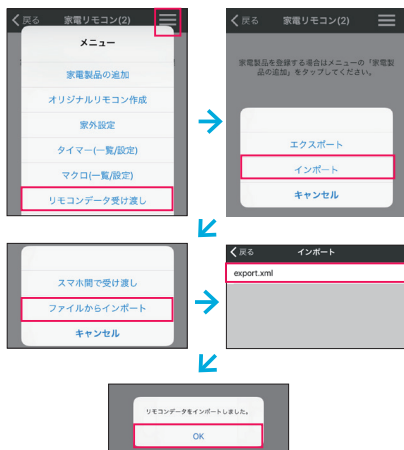


例は、iPhoneX を接続した状態です。



- ① iPhone 接続で表示されるアイコンをクリックします。
- ② [ファイル共有] をクリックします。
- ③ [家電リモコン] をクリックします。
- ④ [ファイルを追加] をクリックして export.xml を選択します。

3 [リモコンデータ受け渡し] でインポートするファイルを選択する



- ① メニューから [リモコンデータ受け渡し] をタップします。
- ② [インポート] をタップします。
- ③ [ファイルからインポート] をタップします。
- ④ [export.xml] をタップします。
- ⑤ [OK] をタップします。

ワンポイント export.xml は削除される

インポート後、export.xml は iPhone/iPad から自動削除されます。

こんなときは リモコンの名前が既存と重複

リモコン名は重複したまま、追加でインポートされます。

相手にリモコンデータをメール送信

iPhone/iPad にインポートする (Macの場合)



1 メールを受信し添付ファイルをダウンロードする



デスクトップ等にexport.xmlを保存します。

2 iTunes から iPhone/iPad にファイルを転送する

macOS Catalina 以降の Mac では、iPhone と同期する機能が iTunes から Finder に引き継がれています。

Mac に iPhone を接続すると、Finder が表示されます。Mac に転送した xml ファイルは、「ファイル」のタブにある家電リモコンアプリへドラッグするとコピーできます。



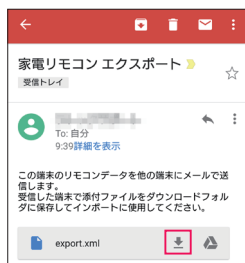
リモコンデータを他のスマホにコピー

便利に使う

Android にインポートする



1 メールを受信し添付ファイルをダウンロードする



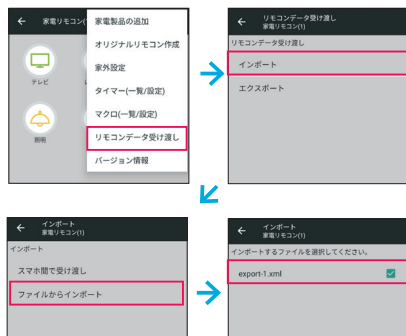
例は、Gmail で受信した場合です。

[ダウンロード] をタップし、受信したメールの添付ファイルをスマホに保存します。

ワンポイント 添付ファイルの保存先

添付ファイルは Download フォルダに保存してください。Gmail の場合、通常は Download フォルダに保存されます。

2 [リモコンデータ受け渡し] でインポート



Android6 以降では、あらかじめ設定からメールアプリ (Gmail など) のストレージ読み書きを許可しておいてください。

- ① メニューから [リモコンデータ受け渡し] をタップします。
- ② [インポート] をタップします。
- ③ [ファイルからインポート] をタップします。
- ④ ファイルを選択します。

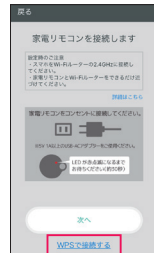
こんなときは

ファクトリーリセットを繰り返してセットアップできない

さまざまな要因、対策が考えられます。以下をお試しください。

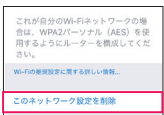
【ルーター側で対策】

- Wi-Fi の電波が弱い
本製品やスマホを、Wi-Fi ルーターに近い場所へ移動してください。
※設定後は、設置したい位置に移動してご使用いただけます。
- デバイスの接続台数制限による
ルーターに接続しているデバイスが複数ある場合は、減らしてみてください。
- 回線が混み合っている
ルーターが WPS に対応している場合は、WPS で接続してみてください。(右図)
- タイミングによる場合があります。時間をおいて再度お試しください。
- パスワードが間違っている
パスワードを表示にして、正しく入力されているか確認してください。



【端末側で対策】

- スマホの Wi-Fi 設定で、ご使用の Wi-Fi ルーター (2.4GHz 帯の SSID) を選択した状態で、本製品の接続設定をおこなってください。※ 5GHz 帯の SSID では接続できません
- Wi-Fi の接続先情報をクリアする
端末の Wi-Fi 設定から、接続に失敗したときの本製品の情報を削除します。



Android の場合
Wi-Fi の設定一覧から本製品を選択、「ネットワーク設定を削除」をタップ(端末により異なります)



本製品をリセット後、接続先に指定し①を選択

「このネットワークを削除」を選択

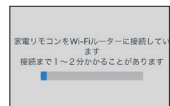
「解除」を選択

- 接続しないアクセスポイントの自動接続をオフにする (iOS)
セットアップ時、Wi-Fi 設定の 5GHz 帯のアクセスポイントの①から自動接続を一時的にオフにし、接続先が自動で切り替わるのを予防します。



【アプリ側で対策】

- アプリを再起動する
いったんアプリを終了して、再度起動してください。(アプリ側に残っているキャッシュをクリアします)
- 手で接続先を指定する
接続待機(右画面)中に OS の Wi-Fi 設定を開き、接続したいアクセスポイントを選択してから家電リモコンアプリに戻ってください。(接続処理中、OS が自動選択したアクセスポイントへ切り替わり失敗するケースがあります)



Amazon Alexa がうまく動作しない（スマートホーム）

【Alexa アプリのデバイスに家電が表示されていない場合】

- スマートホームに家電を登録するには、以下の作業が必要です。⇒ [22 ページ](#)
 1. 家電リモコンアプリの [Amazon Alexa 設定]-[スマートホーム] で家電の登録する
 2. Alexa アプリから「スマート家電コントローラ スマートホーム」を有効にする
 3. Alexa アプリからデバイスを検出する（通常は 2. のあと自動的に検出が開始します）
- 手動でデバイスを検出する場合は、デバイスの画面で [+] → [デバイスを追加] をタップします。それでも見つからない場合は、上記 2. でいったんスキルを無効にして有効にしたあと、再度検出してみてください。
- スキル有効時に入力したアカウントと、家電リモコンアプリで登録しているアカウントが同じになっているか、ご確認ください。

【操作できる家電と操作できない家電がある場合】

- スマートフォンからの操作ができていますかご確認ください
- Alexa アプリの「スマートホーム」にデバイスが追加されているかご確認ください
- 家電の名前は日本語（ひらがな、カタカナ、漢字）を使うようにしてください。アルファベットや記号を使うと、解読しにくい場合があります。発話がどのように解読されたかは、Alexa アプリのメニューから [設定]-[履歴] で確認できます。
- 家電リモコンアプリ（Alexa の設定）と Alexa アプリからいったん家電を削除し、再度設定し直してみてください。なんらかの理由で、クラウド上への書き込みに失敗した可能性があります。

Google アシスタントがうまく動作しない

【Google Home アプリに家電が表示されていない場合】（スマートホーム）

- Google Home アプリの「スマートホーム」で [+] をタップし、「家電リモコンスマートホーム」がリンク済みになっているかご確認ください。
- 家電リモコンスマートホームへリンク時に入力したアカウントと、家電リモコンアプリで登録しているアカウントが同じになっているか、ご確認ください。

【操作できる家電と操作できない家電がある場合】

- スマートフォンからの操作ができていますかご確認ください
- 家電の名前は日本語（ひらがな、カタカナ、漢字）を使うようにしてください。アルファベットや記号を使うと、解読しにくい場合があります
- 家電リモコンアプリ（Google アシスタントの設定）からいったん家電を削除し、再度設定し直してみてください。なんらかの理由で、クラウド上への書き込みに失敗した可能性があります。

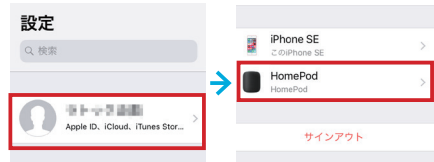
スマートホーム（Direct Actions）の場合

- Google Home アプリの「スマートホーム」で「家電リモコンスマートホーム」がリンク済みになっているか、ご確認ください。
- Google Home アプリの「スマートホーム」にデバイスが追加されているかご確認ください。
- 家電の名前は日本語（ひらがな、カタカナ、漢字）を使うようにしてください。アルファベットや記号を使うと、解読しにくい場合があります。

HomePod で Siri ショートカットが動作しない

iPhone は HomePod と同じ Apple ID でサインインし、同じ Wi-Fi ネットワークに接続してください

- サインインの情報に、その端末と HomePod は表示されていますか
表示されていない場合は、HomePod と同じ Apple ID でサインインし直してください。



- オーディオカードに HomePod は表示されていますか
表示されていない場合は、Wi-Fi 接続先をご確認ください。



コントロールセンターのオーディオカードを長押し
で切り替えてデバイスを表示します

- ホーム App で、HomePod が正しく設定されているか
ご確認ください。



パーソナルリクエストが有効でも、いったん無効にして再度有効にすることで改善する場合があります。

- 一部のショートカットが正常に動作しない

[Siri と検索] のマイショートカットからいったん削除し、再度 Siri に追加で登録し直してください。

プリセットの一部のボタンが動作しない

ボタンの再学習で、手元のリモコンを使って登録してください ⇒ 47 ページ

リモコン画面のメニューから「新規 / 再学習」を選択します。動作しないボタンをタップし、RS-WFIREX3 本体に向けて、家電に付属のリモコンのボタンを押します。



<目次に戻る>

登録している家電製品を削除・変更したい

リモコンデータはスマホのアプリ上だけでなく、さまざまな場所に登録されています。家電の削除や変更をおこなう場合は、アプリ上のリモコンだけでなく各保存場所のリモコンデータを更新する必要があります。

【機能別保存場所リスト】

機能	保存場所	家電の削除	家電の更新 (旧家電から新家電への変更)
リモコン 元データ	アプリ	①家電をロングタップ②メニューから [削除] を選択	①家電を削除 (左の手順) ② [家電製品の追加] から新家電を保存
マクロ	アプリ	① [マクロ] を開く②該当する家電の操作を削除	①家電を削除 (左の手順) ② [+] から新家電のリモコンボタンを選択して登録
オリジナル リモコン	アプリ	①オリジナルリモコンを選択②メニューから [オリジナルリモコン編集] を選択してパーツを削除	①家電を削除 (左の手順) ② [+] から新家電のリモコンパーツを追加
タイマー	本体	① [タイマー] を開く②該当する家電の操作を削除	①家電を削除 (左の手順) ② [+] から新家電のリモコンボタンを選択して登録
ウィジェット	別プログラム	① [通知センターにボタン追加] を選択②該当する家電の操作を削除	①家電を削除 (左の手順) ② [+] から新家電のリモコンボタンを選択して登録
Amazon Alexa	RATOC クラウド、 Alexa クラウド	[Amazon Alexa の設定] から削除 <スマートホームスキル> ①登録機器一覧から該当する家電を削除し [登録] ② Alexa アプリでデバイス削除 <カスタムスキル> ①家電一覧で削除予定の家電から「A」をはずして登録	[Amazon Alexa の設定] から更新 <スマートホームスキル> ①家電を削除 (左の手順) ②登録機器一覧に新家電を追加し [登録] ③ Alexa アプリで検出 <カスタムスキル> ①家電一覧で新家電をタップし「A」を表示して登録
Google アシスタント	RATOC クラウド	[Google アシスタントの設定] から削除 <スマートホーム> ①登録機器一覧から該当する家電を削除し [登録] <カスタム> ①家電一覧から削除予定の家電をタップし「G」をはずして登録	[Google アシスタントの設定] から更新 <スマートホーム> ①家電を削除 (左の手順) ②登録機器一覧に新家電を追加し [登録] <カスタム> ①家電一覧から新家電をタップし「G」を表示して登録
IFTTT	RATOC クラウド	① [IFTTT の設定] を開く②該当する家電を削除し [登録]	①家電を削除 (左の手順) ② [IFTTT の設定] に新家電を [追加] して [登録]
Siri	データへの リンク	① OS の [Siri と検索] を開く②マイショートカットから選択して削除	①家電を削除 (左の手順) ②リモコン画面から新家電のボタンを登録

ワンポイント RATOC クラウドのリモコンデータ更新は、設定画面からの上書き保存で OK

Alexa/Google アシスタント / IFTTT の設定で登録したリモコンデータは、登録機器一覧から家電を開いて [登録] をタップすると上書き保存されます。ボタンを再学習したときや、スマートスピーカーからの特定のボタンがうまく動作しないときは、クラウド上のリモコンデータを上記方法で更新します。

なお、家電自体を変更したときは、家電の名称が同じでもいったん削除してからの登録が必要です。

接続先ルーターを変更したい

本製品をファクトリーリセット後（⇒ 10 ページ）、アプリの [家電リモコンの追加] から新しいルーターに接続してください。

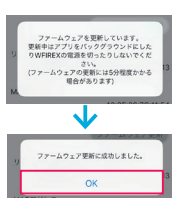
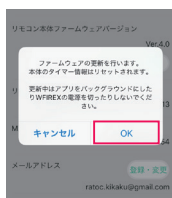
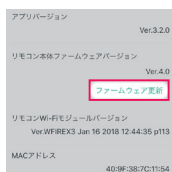
アプリのリモコンデータやスマートスピーカーとの連携などは、ルーターを変更してもそのまま引き続きご利用いただけます。

ファームウェアを更新したい

機能の充実や改良により、本体のファームウェアをバージョンアップすることがあります。アプリ更新後に以下の手順でファームウェアの更新をおこなってください。（本製品と同じ Wi-Fi ルーターに接続しているスマホからのみおこなえます）

ワンポイント ファームウェア更新のタイミング

ファームウェアのバージョンが古いリモコンのメイン画面には、右図のメッセージが表示されます。（アプリ更新時にご確認ください）



- ①メニューから [バージョン情報] をタップします。
- ② [ファームウェア更新] ボタンをタップします。

こんなときは [ファームウェア更新] が押せない

ファームウェアの更新はありません。

ファームウェア更新

- ③ [OK] をタップします。

更新中は本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

更新後、タイマー情報は消去されます。

- ④ [OK] をタップします

こんなときは ファームウェア更新に失敗した

再度 [ファームウェアの更新] ボタンをタップすると、更新処理を再開します。

登録しているメールアドレス・パスワードを変更したい

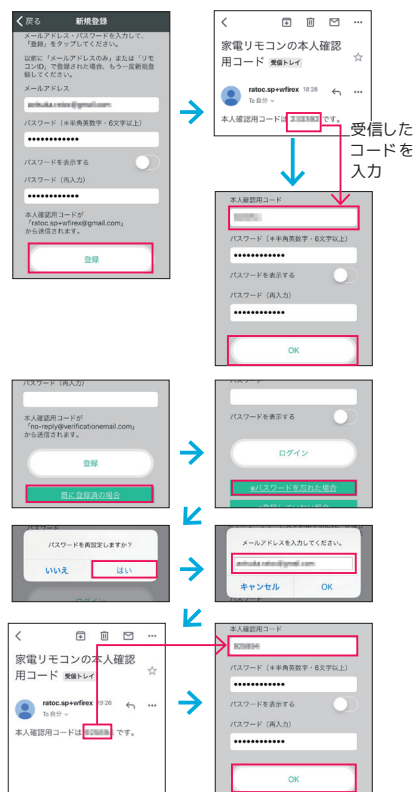
アプリに登録しているメールアドレスやパスワードは、変更することが可能です。メールアドレスは新規登録、パスワードは更新をおこなってください。

1 家電リモコンアプリで、メールアドレスの登録画面を開く



- ① メイン画面のメニューから [バージョン情報] を開きます。
- ② メールアドレス項目にある [登録・変更] をタップします。

2 メールアドレス、パスワードを変更する



メールアドレス変更の場合

新規登録をおこないます

- ① 新しいメールアドレスとパスワードを入力し、[登録] をタップします。
- ② 入力したメールアドレス宛に、本人確認用の本人確認用コードが届きます。
- ③ ②をアプリの「本人確認用コード」欄に入力し、[OK] をタップします。

パスワード変更の場合

パスワードの再設定をおこないます

- ① [既に登録済の場合] をタップします。
- ② ログイン画面が表示されます。[パスワードを忘れた場合] をタップします。
- ③ 入力したメールアドレス宛に、本人確認用コードが届きます。
- ④ ③をアプリの「本人確認用コード」欄に入力し、[OK] をタップします。
- ⑤ [パスワード再設定に成功しました] が表示されたら完了です。

<目次に戻る>

ワンポイント Alexa/Google Home アプリでのメールアドレス更新も必要

スマートスピーカーと連携している場合は、新しいメールアドレスで Alexa (Google Home) アプリへのサインインとスキル (アクション) のリンクし直しが必要です。

● Amazon Alexa でリンク解除

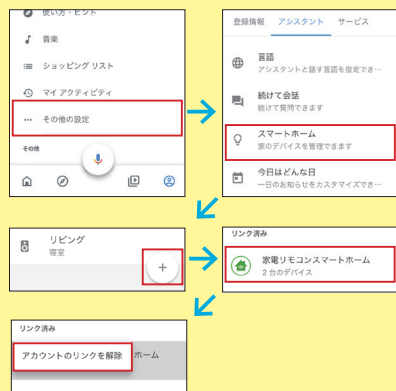


スキルとゲームからスキルを無効にしてサインアウトします。

新しいアドレスでサインインしたあと、新しいアカウントでスキルを有効にしてください。

● Google Home でリンク解除

【スマートホーム (Direct Actions)】



Google Home アプリでリンクを解除します。

新しいアドレスに切り替えてリンクし直します。

【カスタム (Conversational Actions)】



Google アシスタントアプリで、リンクを解除します。

新しいアドレスに切り替えてリンクし直します。

※本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。

※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

※本紙の内容に関するものは、将来予告なしに変更することがあります。

※本製品および本紙に記載されている会社名および製品名は、各社商標または登録商標です。ただし本文中にはR およびTM マークは明記していません。

ラトックシステム株式会社

<https://www.ratocsystems.com/>

スマート家電コントロール
RS-WFIREX3 PDF マニュアル
2020年1月 第4.5版

<目次に戻る>

こんなときは

75